

医 輪

VII

創立 70 周年 法人設立 35 周年記念

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

目次

記念誌発行によせて

刊行のことば 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 会長 増田 詩織	……4
祝辞 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会長 宮島 喜文	……5
祝辞 大阪府知事	……6
祝辞 一般社団法人 大阪府医師会 会長 高井 康之	……7
祝辞 一般社団法人 大阪府薬剤師会 会長 乾 英夫	……9
祝辞 公益社団法人 大阪府看護協会 会長 弘川 摩子	……11
祝辞 公益社団法人 大阪府栄養士会 会長 藤原 政嘉	……12
祝辞 公益社団法人 大阪府診療放射線技師会 会長 藤田 秀樹	……13

大臨技のあゆみ(年表) ……14

大臨技の組織 ……26

第1部 特集

法人設立30周年 技師会創立 65 周年 記念式典・記念祝賀会	……31
大臨技新年互礼会	……36
献血推進活動	……40
大臨技臨床検査データ標準化事業	……41
府民健康フォーラム、合同フォーラム	……42
教育機関との連携(大臨技教育セミナー)	……46
教育機関との連携(教育機関懇談会・大臨技登録学生)	……52
日臨技事業(検査説明・相談ができる臨床検査技師養成講習会)	……53
日臨技事業(全国検査と健康展)	……54
日臨技事業(がん検診啓発予防事業)	……57
HIV 予防啓発講演会	……60
看護フェスタおおさか	……62
手話講演会	……63
臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会	……64
ベッドサイド実践講習会	……67
PCR 検査実技講習会	……68
タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会	……69
臨床検査スタートセミナー	……70

第2部 大阪で開催された学会

大臨技医学検査学会	……73
第71回日本医学検査学会 in 大阪	……78

第3部 資料(平成29年2017~令和4年2022)

受賞 受章	……85
感謝状表彰者	……86
日臨技永年職務奨励者	……87
大臨技総会	……96
大臨技役員	……98

編集後記 ……101

記念誌発行によせて



刊行にあたって

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
会長 増田 詩織

当会は、1950(昭和 25)年に施行された「大阪府細菌検査条例」を受けて結成された「大阪府細菌検査協会」を源流とする。1958(昭和 33)年に「衛生検査技師法」が成立され、1963(昭和 38)年に技術者会から技師が中心となる「大阪府衛生検査技師会」となりました。1970(昭和 45)年に「臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律」が制定され、臨床検査技師が誕生しました。1977(昭和 52)年に当会は「大阪府臨床衛生検査技師会」に改称、改組が行われました。1985(昭和 60)年に社団法人設立の許可が下り、2003(平成 15)年に「大阪府臨床検査技師会」と改称を重ね、2013(平成 25)年に現在の「公益社団法人大阪府臨床検査技師会」になりました。

当会は、約 4,000 名の会員を擁する職能団体です。急速に少子化・高齢化が進展する中、府民の医療や健康に対するニーズも多様化しており、その基礎となる地域医療の果たすべき役割は年々増加しています。その中で臨床検査を通じ、大阪府民の健康と活力を支えていきたいと思えます。それには日々の最新医療の知識や技術の習得に努め安全で安心な医療を目指して会員の資質向上を図りたいと考えています。会員一人ひとりが臨床検査のプロフェッショナルとしての学術研鑽をすること、臨床検査を広く府民に認識していただくことが大切であると実感しています。2020 年から度重なる新型コロナウイルスの感染拡大を経験して、臨床検査へのご理解が一層得られてきました。

「年輪Ⅶ」は 2018 年から 2022 年までの記録を収載したものです。この約 5 年間ににおいてもこれまで同様に定款に従ってオンライン技術も利用しながら多くの事業を行ってきました。臨床検査技師の学術研鑽のための各種研修会の開催と、府民健康フォーラム、献血活動など大阪府民の健康の保持と増進に寄与するための公益事業も数多く行ってきました。新たな取り組みとしては、次世代の臨床検査技師を育てる大臨技医学検査学会を行なっています。2022 年 5 月に 24 年ぶりに大阪で第 71 回日本医学検査学会を担当し、会場開催とオンデマンド配信により多くの参加者を迎えました。これからも臨床検査技師の職能団体として名実ともに社会に貢献できるよう努力するつもりです。どうかよろしくご支援の程、お願い申し上げます。

最後に、念願であった「年輪Ⅶ」を刊行することができたことは大きな喜びであり、同時にこのような巡り合わせたことに深謝いたします。刊行に際してご執筆を賜った関係各位、広報編集部、総務部を中心に編集の労を取られましたスタッフの皆さまへ感謝申し上げます。



創立 70 周年記念誌発刊に寄せて

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
代表理事会長 宮島 喜文

公益社団法人大阪府臨床検査技師会が創立70周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。また、これまで会務運営に尽力されました先輩諸氏に厚く御礼申し上げます。

貴会は設立以来、目覚ましく変化する昭和、平成、令和の時代に亘り、大阪府における臨床検査技師の唯一の学術・職能団体としての法人格を取得し、組織基盤の整備を図り、近畿地区では 4,200 名を超える会員を擁する団体に成長して参りました。

そして、会員には日頃から研修会や講習会を通じての研修・教育の場を提供してきました。昭和 29 年に第 3 回の全国学会を皮切りに、昭和 41 年には第 15 回、平成 10 年には 47 回を開催するなど実績を積んできました。特に、この5月の高田厚照学会長の下で開催された日本医学検査学会は、コロナ禍でありながらオンデマンド方式を採用し、約 5,500 名を超える盛大な学会となりました。改めて、ご尽力を賜りました実行委員会及び関係者に御礼申し上げます。

また、公益事業においては、本会はもとより、大阪府の医療団体との連携を深め、精度管理事業や検査と健康展や府民公開講座や献血活動など多彩で且つ充実した地域保健活動は高く評価されます。また、日臨技の執行におきましては、貴会からもこれまでに何人も要職を担う優秀な人材を送り出していただき、重ねて感謝申し上げます。

さて、我が国は少子高齢化社会に対応するため医療介護提供体制の様々な改革を進めていた矢先に、新型コロナウイルス感染症の度重なる流行により国民や企業など社会・経済活動に大きな制約を受ける中、医療現場では献身的な医療従事者の努力の下に今日を迎え、臨床検査技師も検体採取や PCR 検査などを通じて社会的認知度も高まってきました。

更に、臨床検査技師に関する法律改正も相次いで実現し、臨床検査技師の業務範囲も拡大してきました。チーム医療を担う専門職として、また、タスク・シフト/シェアを通じた診療現場では、幅広い専門性を有する臨床検査技師としての活躍を求められています。そして、検体検査の精度を保証する精度管理責任者として、臨床検査技師を養成する臨地実習指導者としても重要な職務を担うこととなりました。

今後も当会は我が国の社会情勢を踏まえた将来を見据え、臨床検査技師の地位向上と待遇改善及び新たに活躍する場の創出に向けて取り組んで参りますので、今後ともご支援ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。貴会が今後も地域社会で信頼され、大阪府の医療団体として益々発展されますと共に、会員の皆様の更なるご活躍を祈念いたします。



祝辞

大阪府知事

公益社団法人大阪府臨床検査技師会が、創立70周年、法人設立35周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、昭和25年の創立以来、昭和61年の社団法人化、平成25年の公益社団法人化と組織体制の基盤強化を図りながら、臨床検査技師の学術技能の研鑽に積極的に取り組まれ、府民の健康の保持・増進や地域医療の向上に寄与してこられました。歴代会長をはじめとする役員、並びに会員の皆様のご尽力の賜物と深く敬意と感謝を表する次第でございます。

近年、臨床検査を取り巻く環境は大きく変化しております。令和3年に「臨床検査技師等に関する法律」の一部が改正され、新たな検体採取方法や生理学的検査等の医療行為が追加となり、さらに、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、鼻腔等の検体採取やワクチン接種への従事等、臨床検査技師が担う業務は拡大し、医療現場での重要性はますます高まっております。

また、臨床検査は、病気の診断や治療方針の決定及び早期発見や予防を行うために、迅速かつ正確なデータを提供することが求められております。貴会は定期的に講演会や講習会を開催し、最新情報や研修の場を提供されるなど、臨床検査技師の資質向上を図るとともに、検査精度の確保を目的に精度管理調査を行い、データ標準化の推進に取り組まれております。加えて、一般の方も無料で参加できる府民公開講座等の開催や、通算50回を超える献血活動など、幅広く府民の健康増進に関わる事業を展開され、本府医療の質の向上に多大な貢献をいただいておりますことに、改めて厚くお礼申し上げます。

皆様方には、引き続き、検査技術や知識の習得に努められ、なお一層ご活躍されることをご期待申し上げます。

大阪府では「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博の開催を2025年に予定しています。府民や国内外からの来訪者が安全・安心に過ごせるように、新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、感染症対策を強化してまいりますので、大阪府の健康医療行政へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、大阪府臨床検査技師会の更なるご発展と、会員の皆様のご健勝を心から祈念して、お祝いの言葉といたします。



お祝いのことば

一般社団法人 大阪府医師会
会長 高井 康之

大阪府臨床検査技師会創立70周年・法人設立35周年を迎えられ、大阪府医師会を代表いたしまして心よりお慶び申し上げます。

私は昨年9月から茂松茂人前会長より引継ぎ会長に就任いたしております。

貴会におかれましては、大阪府地域医療推進協議会の活動において、多大なるご支援を賜っておりますこと、改めて感謝申し上げます。引き続き大阪における医療の確保と福祉行政の充実、向上を目指してご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、長引く新型コロナウイルスのパンデミックに加えて、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や資源・食料の供給不足に伴う世界的なインフレの波が日本にも押し寄せており、しばらく不透明な情勢は続きそうであります。新型コロナウイルス感染症は、昨年夏に感染の第7波が猛威を振るい、新規感染者数が過去最高を更新しましたが、その後も増減を繰り返し、残念ながら現在は第8波に突入しております。感染力が強い一方、重症化リスクは低いオミクロン株の特性から、社会はウイズコロナの方向に舵が切られています。昨秋の臨時国会では、感染症法が改正され、都道府県と医療機関の間で病床や発熱外来に関する協定を結ぶことも法制化されました。弱毒化しているとはいえ、高齢者や基礎疾患のある方にとってはいまだ重症化リスクは高く、当面、2類相当から5類への見直しは時期尚早と言わざるを得ません。新型コロナウイルスの感染拡大は、経済や国民生活へ大きな影響を与えただけでなく、有事の医療提供体制、デジタル化の遅れ、格差の拡大など様々な社会課題を顕在化させました。こうした中で昨年6月に閣議決定された骨太の方針2022では、新型コロナ対策への取り組みのほか、後期高齢者に係る負担能力に応じた負担のあり方やかかりつけ医機能が発揮される制度整備、さらには医療のDX化の推進などが明記され、昨年末に改革の方向性がまとめられています。かかりつけ医機能や医療のDX化については、患者の視点に立って医療の質向上に繋がればよいのですが、医療費抑制のツールになるのではないかと懸念します。

このような状況の中、貴会におかれましては、長年にわたり臨床検査精度管理の向上に尽力され、府民への良質な医療の提供に多大な役割を果たし、更なる検査精度の向上と迅速化に研鑽を積まれていることに、改めて深甚なる敬意を表します。臨床検査精度の維持・向上は、まさしく府民が求めている安全かつ良質な医療の提供の大きな要件であると認識しております。

大阪府医師会におきましても、大阪府内の医療機関や検査施設における臨床検査の精度を高めるべく、昭和48年より「臨床検査精度管理調査」を毎年実施しております。本年で50回目を迎える本調査事

業は、例年200施設を超える参加を得て実施しており、検査レベルの向上に少なからず寄与しているものと自負しております。

これらの私ども医療者の努力により培われた安全かつ良質な医療が、これからも府民に等しく提供できるよう、世界に冠たる日本の国民皆保険制度を、皆様方と一緒に堅持してまいりたいと考えておりますので、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後ますますのご発展とご活躍を祈念いたしまして私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。



祝辞

一般社団法人 大阪府薬剤師会
会長 乾 英夫

公益社団法人大阪府臨床検査技師会が創立70周年、法人設立35周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。会員の皆様に心からお祝い申し上げますとともに、記念誌「年輪Ⅶ」の発刊をお慶び申し上げます。

これもひとえに増田 詩織会長はじめ歴代会長・役員並びに会員の皆様が相互の強い信頼と団結の元、臨床検査技師及び衛生検査技師の学術技能研鑽を通じて、地域医療及び公衆衛生の向上を図り、府民の健康の保持増進にたゆまぬ努力を重ねられた賜物と、深く敬意を表します。

貴会は 1950 年に結成されました「大阪細菌検査協会」を嚆矢とされ、1977 年には「大阪府臨床衛生検査技師会」と改称され、時代の要請にともなって、1985年には「社団法人大阪府臨床検査技師会」が誕生、そして2013年に現在の「公益社団法人大阪府臨床検査技師会」となられ、ここにめでたく創立70周年を迎えられました。

さて、医療の中で重要な位置づけである臨床検査技師の業務は、尿・便・血液・髄液・組織を採取する検体検査や臓器の状態を物理的に捉える生理検査があり、医師の診断や治療方針の決定、病気の早期発見や予防に欠かせない業務であると共に、医療の質の向上を図る要因の一つでもあります。

一方、わが国の社会的課題として、2025年以降、「高齢者の急増」(2040年頃に65歳以上人口のピークが到来)から「現役世代の急減」に局面が変化し、

入院患者数も2040年にピークを迎える(65歳以上が約8割を占める)ことが見込まれています。財政維持の観点から持続可能な社会保障制度を堅持していくために医療・介護・福祉のあり方について大きな変革の時期を迎えています。

薬剤師会におきましても、2025年の地域包括ケアシステムの構築に向けて地域の関係機関等との連携を構築し、検診等をすすめる受診勧奨や予防等の相談会を推進する健康サポート機能を備えた「かかりつけ薬剤師・薬局」、高度な薬学的管理や在宅医療・介護を含む地域への貢献が、今後ますます必要とされています。

そのような中、府民への広報・啓発活動の一環として、臨床検査技師会と栄養士会と共に取り組む「府民健康フォーラム」は昨年第17回の開催となりました。一つのテーマを決定して三者がそれぞれ特徴を出し合い、府民の健康をサポートすることで、健康づくりや疾病の重症化予防に役立つ貢献がより一層期待されています。また、薬物治療を行なう上でも検査値の活用が重要視され、処方箋に検査値を印字する病院が増えています。この活用について臨床検査技師の先生方との更なる連携を構築してい

たいと考えております。

結びにこの節目の70周年を契機に、公益社団法人大阪府臨床検査技師会が、地域医療・保健・福祉の向上になお一層貢献されますとともに、今後益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を祈念し、大阪府薬剤師会を代表いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝辞

公益社団法人 大阪府看護協会
会長 弘川 摩子

公益社団法人大阪府臨床検査技師会創立70周年、並びに法人設立35周年を迎えられたこと誠にありがとうございます。大阪府看護協会を代表して心からお慶びを申し上げます。大阪府臨床検査技師会におかれましては、昭和 25 年創設以来、臨床検査業務にたずさわる方々の知識向上と検査技術の向上や府民の健康保持増進にご尽力いただき深く敬意を表します。また、3 年にわたるコロナ対応では検査の体制整備などご尽力いただき感謝申し上げます。

現在わが国は少子高齢化が進む中、地域包括システム推進が構築されつつあります。これまで入院医療中心であった療養の場は、在宅領域へとシフトし医療機関はもとより、医療機関と在宅をつなぐ回復期・慢性期医療や外来医療、さらには在宅医療、訪問看護など地域での安定した療養生活ができるよう体制を整えることが重要になってきます。臨床検査は、疾患の診断、治療、早期発見や予防などになくしてはならないものです。府民の方々が安心して住み慣れた地域で長く暮らすことができるためにも正確なデータは、地域包括ケアシステムの要になると思います。より一層の連携をお願いします。

貴協会とは、毎年開催している「看護フェスタおおさか」のイベントにおいてご協力いただきありがとうございます。この 2 年間はコロナの影響で縮小した形で開催しましたが、貴協会でご企画していただいた「無侵襲ヘモグロビン測定」や「頸動脈エコー」の体験コーナーは、非常に人気があり、府民の皆さんの健康に対する関心を高めることにつながったのではないかと思います。健康年齢のできるだけ伸ばしていくことは、府民の皆様が自分らしく生きることにつながります。当協会では、平成 12 年から国民の健康づくりの推進 少子高齢化社会に対応する地域の保健医療の推進 として身近で気軽に健康相談ができる「まちの保健室」事業を展開しています。地域関係機関と連携し地域と密着した活動で受診するほどでもない心配事、生活習慣病予防、子育て、介護など相談を受けています。また、貴協会とも協働して活動できれば良いのではないかと思います。

最後になりましたが、この栄ある創立 70 周年、法人創立 35 周年という節目を契機とされ、公益社団法人大阪府臨床検査技師会が、府民の幸せと会員の未来のために頼りになる組織として、より一層の発展を遂げられますことを心から祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



祝辞

公益社団法人 大阪府栄養士会
会長 藤原 政嘉

公益社団法人大阪府臨床検査技師創立70周年・法人設立35周年誠におめでとうございます。

公益社団法人大阪府臨床検査技師創立70周年・法人設立35周年にあたって一言お祝いを申し上げます。

70年の長きに亘り、臨床現場でメディカルスタッフとして医療の一翼を担い専門的医療技術者として活躍されている皆様方がスキルアップや学術技能研鑽等を図り府民の健康の保持、増進に寄与することに目的を一にして相集い発足、運営、発展され今日に至った長年のご努力とご苦労に敬意を表します。あらためて創立70周年・法人設立35周年おめでとうございます。

日進月歩する現代医療において、血液生化学的検査・生理検査等は不可欠なものでそれらを適正かつ安全に運営・管理されている皆様の姿は頼もしく、医療現場に働く管理栄養士は患者様との接遇や専門職種としての倫理感を持つことの重要性の手本にさせていただいております。

栄養・食事指導をする場合、検査データをもとにスクリーニング・栄養アセスメントを行い栄養状態や病態を評価し、患者様が実行できる栄養・食事計画を作成します。そのため、その検査データは重要な意味を持っています。また病院ではNST(ニュートリションサポートチーム)のメンバーとして協働で患者様の栄養管理を支援させていただいております。

また、一年に一度ですが、貴会と薬剤師会と栄養士会の三者で「府民健康フォーラム」を開催し、毎年時機に相応したテーマで府民の皆様にご喜ばれています。その席におきまして貴会から発信される臨床検査の重要性、思いは聴講している我々にもひしひしと感じとれます。

(公社)大阪府栄養士会は「食と栄養」に関する専門職能団体として、大阪府民の公衆衛生の向上に寄与することを目的に、公益性を持った事業の運営を基軸として約 3,000 人の会員で運営しております。前述しましたが栄養・食事管理計画をする場合は栄養アセスメントを行いますが、その時管理栄養士にとって不可欠なのが検査データです。適格な検査データの読み方のご教授をはじめ、今後も医療現場を中心として色々な場面で協働させていただく機会があるかと思っておりますので、ご指導よろしくお願いたします。

終りにあたり、公益社団法人大阪府臨床検査技師の益々の発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして公益社団法人大阪府臨床検査技師創立 70 周年・法人設立 35 周年に当たってのお祝いの言葉とさせていただきます。



祝辞

公益社団法人 大阪府診療放射線技師会
会長 藤田 秀樹

このたびは、公益社団法人大阪府臨床検査技師会の創立70周年・法人設立35周年、誠におめでとうございます。

大阪府臨床検査技師会は、長年にわたり会員の職業倫理の向上と資質向上に取り組み、成果を上げてこられました。また、府民健康フォーラムやがんフォーラムなど様々な府民公開事業を通じて大阪府民の健康維持・増進にも多大な貢献をされました。これは増田会長はじめ歴代の役員、会員の皆様の熱意とご努力の賜物であり、これまでの取り組みに対し心より敬意と感謝の意を表します。

私と臨床検査技師会との出会いは30年くらい前に参加した野球対抗試合でした。当時の私は診療放射線技師会ではまだ何も活動はしておらず、この野球大会だけ毎年参加していました。2004年から学術委員として活動し始めたころには野球大会がなくなり、合同フォーラムという形で、両会協力して、企画・運営していました。これまでタイムリーな話題や様々な病気をテーマとして取り上げ、両会の会員による教育講演と医師による特別講演という構成で、20年以上続いています。今後も協力して、会員および府民の皆様の期待に応えるべく情報提供していけることを願っています。

令和3年5月28日付けで公布された「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」によって、臨床検査技師および診療放射線技師、臨床工学技士の法令が改正され、令和3年10月1日から施行されています。この3職種とも拡大された業務を行うためには、あらかじめ技師会が主催する講習会を受講しなければなりません。この講習会の準備と開催のために、現在かなりの労力を費やしていることと拝察いたします。診療放射線技師もこの改正により、造影剤を使用した検査のために静脈路を確保する行為が可能となりました。ただ、医療安全の観点から実際に現場で行うためには、十分な研修が必要となります。貴会におかれましても効率的に安全な医療を提供するため引き続きご尽力くださいますようお願い申し上げます。

また、現行制度の下で実施可能な業務範囲の中で、各施設におかれましてもタスク・シフト／シェアを進めているところだと思います。超音波検査や MRI 検査など、共通する業務がある医療専門職種として、お互いそれぞれの専門性を発揮しながら業務をシェアしていければと考えています。

結びにあたり、大阪府臨床検査技師会のますますの発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



大臨技のあゆみ

年表 社団法人大阪府臨床検査技師会のあゆみ

第Ⅰ部 前史

(昭和 25 年以前)

明治 20 年	桃山病院開院
明治 30 年	石神研究所（私立伝染病研究所）創立
大正 6 年	財団法人竹尾結核研究所創立
大正 9 年	鳥潟免疫研究所（鳥潟病院）創立
大正 10 年	大阪細菌研究所創立
大正 14 年	大阪実験治療研究所創立（目黒研究所）
昭和 元年	有馬研究所（有研）創立
昭和 2 年	大阪血清微生物研究所創立
昭和 9 年	大阪大学微生物研究所創立
昭和 19 年	宮城県細菌検査研究協議会結成
昭和 23 年	全国国立療養所病理試験技術者協議会結成 神奈川県細菌協会結成
昭和 25 年	国立東京第一病院中検制度導入大阪府細菌検査取締条例の施行 大阪府細菌検査取締条例の施行

第Ⅱ部 技術者会の発足（昭和 25 年～昭和 34 年）

昭和 25 年	大阪細菌検査協会結成総会（大阪府衛研）
昭和 26 年	近畿地方国立病院療養所衛生検査技術者会結成 日本衛生検査技師協会創立（全医労会館）
昭和 27 年	近畿地方衛生技術者協会結成総会（大阪府衛研） 日本衛生検査技術者会創立、第 1 回学術研究会（名古屋） 「衛生検査」創刊号発行 日本衛生検査技術者会大阪支部発足
昭和 28 年	第 2 回学術研究会・日本衛生検査技術者会総会（東京）
昭和 29 年	日本衛生検査協会に改称 第 3 回日本衛生検査学会（大阪・大阪大学医学部）第 1 回日本臨床病理学会・稔会 第 1 回臨床病理技術士（二級）資格認定試験実施 奥和田正一会長就任
昭和 30 年	第 4 回日本衛生検査協会総会・学会（松本）
昭和 31 年	日衛協大阪支部会員を大阪細菌検査協会の第 3 項会員にすると規約を改正 第 5 回日本衛生検査協会総会・学会（小田原） 衛生検査技師法案国会提案・継続審議
昭和 32 年	第 6 回日本衛生検査協会総会・学会（広島） 病理細菌検査技師法案国会提案・継続審議

昭和 33 年	衛生検査技師法案自民社会共同提案で衆議院可決衛生検査技師法可決成立 ・同法公布
	第 7 回日本衛生検査協会総会・学会（東京）
昭和 34 年	第 8 回日本衛生検査協会総会・学会（新潟） 衛生検査技師国家試験受験準備講習会（阪大北講堂） 第 1 回衛生検査技師国家試験実施

第Ⅲ部 技師会の独立（昭和 34 年～昭和 38 年）

昭和 34 年	日本衛生検査協会大阪支部設立総会（大阪府衛研）
昭和 35 年	第 9 回日本衛生検査協会総会・学会（名古屋） 「衛生検査ジャーナル」第 1 号発行 奥和田正一会長勇退、小林種一会長就任
昭和 36 年	第 10 回日本衛生検査協会総会（解散総会） 日本衛生検査技師会創立総会・学会（豊島公会堂） 「衛生検査」を日本衛生検査技師会雑誌と改称日本衛生検査技師会大阪支部と改称 近畿ブロックの集い（国立大阪病院）
昭和 37 年	第 11 回日本衛生検査技師会総会・学会（青森） 衛生検査技術カンファレンス（京大医学部）
昭和 38 年	社団法人日本衛生検査技師会誕生大阪府衛生検査技師会と改称 第 12 回日本衛生検査技師会総会・学会（東京）第 1 回法改正対策委員会 第 3 回近畿検査学会（兵庫）

第Ⅳ部 技師会の躍動（昭和 39 年～昭和 45 年）

昭和 39 年	第 13 回日本衛生検査技師会総会・学会（福岡） 第 1 次臨調で衛技の中間答申部分削除 国立病院・療養所に技師長制制度化 第 4 回近畿学会（奈良）
昭和 40 年	第 14 回日本衛生検査技師会総会・学会（岡山） 全国血液化学研究班発足・第 1 回コントロールサーベイ実施 第 5 回近畿学会（京都）
昭和 41 年	第 15 回日本衛生検査技師会総会・学会（大阪） 衛生検査技師法改正 3 ヶ年計画設定 第 1 回小島三郎記念技術賞 第 6 回近畿学会（和歌山）
昭和 42 年	第 16 回日本衛生検査技師会総会・学会（東京） 衛生検査技師法改正要綱を作成 第 7 回近畿学会（大阪）

	「大臨技会報」第1号発行
昭和43年	第17回日本衛生検査技師会総会・学会（札幌） 第8回近畿学会（兵庫）
昭和44年	無料職業紹介所認可全国技師会会長会議 第18回日本衛生検査技師会総会・学会（名古屋）第9回近畿学会（京都） 第1回親善野球大会開催
昭和45年	第19回日本衛生検査技師会総会・学会（徳島） 創立20周年記念式典・記念誌「年輪I」発行 衛生検査技師法改正案参議院本会議通過成立 臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律（法律第83号）公布 国際検査技師会（IAMLT）加盟 第10回近畿学会（奈良）

第V部 臨床検査技師の誕生（昭和46年～昭和55年）

昭和46年	第20回日本衛生検査技師会総会・学会、20回記念式典（新潟） 第1回臨技指定講習会実施（関大天六舎、他） 第1回臨床検査技師国家試験実施 第11回近畿学会（滋賀）
昭和47年	第21回日本衛生検査技師会総会・学会（大分） 日本衛生検査技師会史刊行 国際医学検査技師会（IAMLT）会議へ代議員参加 第12回近畿学会（兵庫）
昭和48年	第22回日本衛生検査技師会総会・学会（仙台） 第13回近畿学会（大阪）
昭和49年	第23回日本衛生検査技師会総会・学会（神戸） 小林種一会長勇退、前田宏明会長就任 第14回近畿学会（和歌山）
昭和50年	第24回日本衛生検査技師会総会・学会（横浜） 日本医療技術者団体連絡協議会発足 第15回近畿学会（京都）
昭和51年	第25回日本衛生検査技師会総会・学会（秋田） 第16回近畿学会（奈良）
昭和52年	第26回日本衛生検査技師会総会・学会（長崎） 社団法人日本臨床衛生検査技師会と改称 大阪府臨床衛生検査技師会と改称ニチマンビルに新事務所開設 第17回近畿学会（滋賀） 第1回大臨技スキーツアー開催
昭和53年	第27回日本臨床衛生検査学会（京都）

昭和 54 年	第 18 回近畿学会（福井） 第 28 回日本臨床衛生検査学会（松本）
昭和 55 年	第 19 回近畿学会（大阪） 第 29 回日本臨床衛生検査学会（札幌） 会長・副会長・監事公選制実施 前田宏明会長勇退、松永清輝会長就任 国際医学検査技師会（IAMLT）総会・学会の日本開催決定（1988） 臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律の一部改正 第 20 回近畿学会（兵庫）大臨技創立 30 周年記念式典 卒後教育プロジェクト委員会設置

法人化への道のり（昭和 56 年～昭和 60 年）

昭和 56 年	第 30 回日本臨床衛生検査学会（静岡） 大臨技卒後・生涯教育講座開講
昭和 57 年	第 21 回近畿臨床衛生検査学会（京都） 第 31 回日本臨床衛生検査学会（福岡市） 大臨技臨床化学検査部会標準化検討委員会発足 大臨技会報 100 号記念号発行 栄養士会主催「健康栄養展」を後援
昭和 58 年	第 22 回近畿臨床衛生検査学会（和歌山市） 第 32 回日本臨床衛生検査学会・日臨技法人設立 20 周年記念式典・祝賀会（岡山市） 厚生大臣表彰（大阪 4 名） 大臨技創立 30 周年記念誌「年輪 II」発行
昭和 59 年	第 23 回近畿臨床衛生検査学会（奈良市） 第 33 回日本臨床衛生検査学会（名古屋市） 大臨技定期総会で法人化を議決 大臨技主催第 1 回「臨床検査展」開催（阪神百貨店）
昭和 60 年	第 24 回近畿臨床衛生検査学会（大津市） 第 34 回日本臨床衛生検査学会（盛岡市） 社団法人大阪府臨床衛生検査技師会設立総会（8 月） 社団法人設立許可申請書提出（9 月） 社団法人設立許可（12 月 25 日） 第 25 回近畿臨床衛生検査学会（福井市） 卒後生涯教育講座 5 年目に入る

社団法人としての歩み（昭和 61 年～平成 2 年）

昭和 61 年	社団法人設立登記完了（1 月）
---------	-----------------

社団法人大阪府臨床衛生検査技師会誕生

- 大臨技スキーツアー10周年
 社団法人大阪府臨床衛生検査技師会設立記念式典・祝賀会（太閤園 4月）
 第35回日本臨床衛生検査学会（岐阜市）
 臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律施行規則の一部を改正する省令公布
 大臨技事務所改修工事
 大阪府衛生検査所精度管理責任者講習会（9月延べ7日間）
 第26回近畿臨床衛生検査学会（神戸市）
 日臨技代議員制施行 第1回代議員会（東京）
 大臨技事務所にコンピュータ導入
- 昭和62年 第36回日本臨床衛生検査学会（鹿児島市）
 大臨技社団法人設立記念誌発行
 臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律施行規則の一部を改正による国家試験の一元化
 茨木市、吹田市「健康展」に初めて参加
 第27回近畿臨床衛生検査学会（大阪市 11月29日）
 臨床工学技士法成立
 大阪府精度管理専門委員会設置
- 昭和63年 松永清輝会長勇退、川原浩二新会長就任
 社団法人日本臨床衛生検査技師会法人設立25周年記念式典・祝賀会（神戸市 4月30日）
 厚生大臣表彰（大阪5名）
 第37回日本臨床衛生検査学会（神戸市 7月16・17日）
 第18回国際医学検査技師会（IAMLT）学会（神戸国際会議場 7月17日～22日）
 第1回臨床工学技士指定講習会（5月～9月延べ17日間）
 第1回臨床工学技士国家試験監督員を派遣
 第28回近畿臨床衛生検査学会（和歌山）
 「大臨技ニュース」第1号発行
- 平成元年 第38回日本臨床衛生検査学会（郡山市）
 日臨技 検査における感染防止と医療廃棄物講習会
 管理運営協議会10周年記念講演会
 第1回新入会員研修会
 日臨技 血液・細胞研修会大阪で開催
 第29回近畿臨床衛生検査学会（京都）
- 平成2年 川原浩二会長勇退、柳瀬彦三新会長就任
 第39回日本臨床衛生検査学会（水戸市）
 国際花と緑の博覧会の会場検査室運営を担当
 厚生省「医療廃棄物処理に関する講習会」を大阪で開催
 第2回臨床工学技士指定講習会（19日間）
 第1回技師長会
 大臨技創立40周年・法人設立5周年記念式典・祝賀会

第1回会員交流会（第4回から「検査フォーラム」と改称）
第30回近畿臨床衛生検査学会（奈良市）

社団法人としての歩み（平成3年～平成11年）

平成3年
日臨技医療廃棄物処理講習会担当
第40回日本臨床衛生検査学会（金沢市）
大臨技シンボルマークを設定
普賢岳災害の義援金を被災地島原に贈る
第3回臨床工学技士指定講習会（19日間）
第31回近畿臨床衛生検査学会（米原町）

平成4年
第41回日本臨床衛生検査学会（熊本市）
日臨技生涯教育研修手帳配布
不合格者を対象とする第1回国家試験対策講座（34日間）
第4回臨床工学技士指定講習会
第32回近畿臨床衛生検査学会（福井市）
社団法人日本臨床衛生検査技師会法人設立30周年記念式典・祝賀会（東京都）
厚生大臣表彰（大阪3名）

平成5年
第42回日本臨床衛生検査学会（札幌市）
日臨技標準化事業尿沈渣講習会担当
第1回大臨技公開講座
臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律の一部改正
生理学的業務拡大名誉会員小林種一先生逝去
第33回近畿臨床衛生検査学会（大阪市 10月23・24日）
第1回献血推進活動

平成6年
柳瀬彦三会長勇退、小林紀崇新会長就任
第43回日本臨床衛生検査学会（松山市）
生理学的検査業務拡大特別講演会（大阪医大・近大）
名誉会員故小林種一先生追悼集会
第34回近畿臨床衛生検査学会（神戸市）

平成7年
「阪神大震災」発生 救援活動に積極的に対応、参加
第44回日本臨床衛生検査学会（山形市）
第47回日本臨床衛生検査学会立候補（5月8日）
第1次学会調査委員派遣
学会準備委員会設置（8月）
大臨技創立45周年・社団法人設立10周年記念式典・祝賀会
記念誌「年輪II」発行
第35回近畿臨床衛生検査学会（和歌山市）

平成8年
第45回日本臨床衛生検査学会（千葉市）
第47回日本臨床衛生検査学会（平成10年）担当決定学会実行委員会設置

	第2次学会調査委員派遣
	第1回大臨技テニス大会開催
	第1回学会企画委員会（東京 8月30日）
	第2回学会企画委員会（大阪 10月26日）
	第1回府民健康講座開催
	第1回手話講座開催
	第36回近畿臨床衛生検査学会（京都市）
平成9年	社団法人日本臨床衛生検査技師会法人設立35周年記念式典・祝賀会 （東京都 4月26日）
	厚生大臣表彰（大阪5名）
	第46回日本臨床衛生検査学会（名古屋市）
	第3次学会調査委員会（調査団）派遣
	大阪府下16地区を北・中央・南支部として再編成
	学会特別企画打合せ会（大阪 6月7日）
	第1回学会展示説明会（東京 8月22日）
	第37回近畿臨床衛生検査学会（奈良市）
平成10年	第2回学会展示説明会（大阪 2月19日）
	第47回日本臨床衛生検査学会「なにわから未来への提言」（大阪市 5月7・8日）
	第38回近畿臨床衛生検査学会（草津市）
	第40回近畿臨床衛生検査学会（平成12年）担当決定
平成11年	日本臨床検査技師連盟発足
	第40回近畿臨床衛生検査学会第1回実行委員会
	第48回日本臨床衛生検査学会（広島市）
	大臨技ホームページ開設
	第39回近畿臨床衛生検査学会（福井市）
	大臨技が日本赤十字社献血功労団体として表彰

社団法人としての歩み（平成12年～平成24年）

平成12年	小林紀崇会長勇退、朝山均新会長就任
	第1回大放技・大臨技合同フォーラム開催
	第49回日本臨床衛生検査学会（沖縄県宜野湾市）
	大臨技創立50周年・法人設立15周年記念式典・祝賀会
	第40回近畿医学検査学会（大阪国際交流センター） 〔近畿臨床衛生検査学会を改称〕（10月28・29日）
	記念誌「年輪Ⅳ」発行
平成13年	日臨技総合情報システム（JAMTIS）運用開始
	第50回日本医学検査学会（東京都）〔日本臨床衛生検査学会を改称〕
	第3回東アジア競技大会大阪大会のドーピングコントロールに協力
	第41回近畿医学検査学会（神戸市）

- 平成 14 年
 社団法人日本臨床衛生検査技師会創立 50 周年・法人化 40 周年記念講演会
 ・記念式典・祝賀会（東京都 1 月 25 日）
 厚生大臣表彰（大阪 3 名）
 「大臨技ニュース」の紙面一新
 第 51 回日本医学検査学会（仙台市）
 大臨技が献血推進活動の功勞により厚生労働大臣感謝状を授与
 第 42 回近畿医学検査学会（和歌山市）
 厚生労働省にて臨床検査技師、衛生検査技師に関する在りかた等検討会スタート
- 平成 15 年
 厚生労働省にて臨床検査技師、衛生検査技師に関する在りかた等検討会中間報告
 第 1 回大臨技フォーラム開催
 大臨技定期総会で大臨技名称変更を決議
 第 52 回日本医学検査学会（さいたま市）
 大臨技名称変更申請（6 月 24 日）
 大臨技名称変更許可（7 月 30 日）
 第 1 回糖尿病療養指導士講演会開催
 社団法人大阪府臨床検査技師会と改名（10 月 1 日）
 第 43 回近畿医学検査学会（京都市）
- 平成 16 年
 朝山均会長勇退、森嶋祥之新会長就任
 第 1 回臨床検査教育機関懇談会開催
 第 53 回日本医学検査学会（富山市）
 日本臨床検査標準協議会(JCCLS)「標準採血法ガイドライン(第 1 版)」策定
 大臨技ホームページ掲載要項策定
 第 44 回近畿医学検査学会（橿原市）
 国民医療を守る大阪府民集会（大阪府地域医療推進協議会主催）開催
- 平成 17 年
 大臨技チーム医療推進委員会発足
 臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律の一部を改正する法律「改正法」公布
 （5 月 2 日）
 第 54 回日本医学検査学会（京都市）
 「看護の日」記念行事に協力（以後、毎年）
 大臨技ホームページに大臨技理事会議事録を掲載開始
 第 45 回近畿医学検査学会（大津市）
 第 1 回府民健康フォーラム
 （社）大阪府薬剤師会・（社）大阪府臨床検査技師会・（社）大阪府栄養士会主催）開催
 大臨技国際貢献専門委員会発足
 （JICA 事業に協力し仏語圏アフリカ諸国よりの研修生受け入れ検討）
- 平成 18 年
 大臨技創立 55 周年・法人設立 20 周年記念式典・祝賀会（2 月 4 日）
**臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律の一部を改正する法律「改正法」
 施行(4 月 1 日)**
 国会において「公益法人制度改革関連 3 法」成立第 55 回日本医学検査学会
 （島根県松江市）

- 第 1 回 NST・褥瘡部会講演会開催
 第 1 回大臨技教育セミナー開催
 第 46 回近畿医学検査学会（福井市）
 第 47 回近畿医学検査学会実行委員会発足
 第 47 回近畿医学検査学会ホームページ開設学会同時開催に向けての 5 学会
 合同会議開始
 JICA 仏語圏アフリカ臨床検査技術コース実施
 日臨技「臨床検査データ共有化ガイドライン」提示
- 平成 19 年 大臨技臨床検査データ標準化事業推進委員会発足第 56 回日本医学検査学会
 （宮崎市）
 第 47 回近畿医学検査学会（グランキューブ大阪）（11 月 24・25 日）
 （第 50 回日本臨床検査医学会近畿支部総会・第 27 回日本衛生検査所協会近
 畿支部学術研究発表会との同時開催）
 （第 54 回日本臨床検査医学会学術集会・第 47 回日本臨床化学会年次学術集会
 （11 月 23・24・25 日）との同時開催）
 第 1 回大阪府臨床検査技師会 ICLS コース講習会開催
 「医師及び医療関係職と事務職員等との間等での役割分担の推進について」
 （厚生労働省医政局長発）通知発出
- 平成 20 年 社団法人日本臨床衛生検査技師会創立 55 周年・法人化 45 周年・法改正記念
 式典・祝賀会（東京都 2 月 8 日）
 厚生大臣表彰（大阪 3 名）
 大臨技定期総会で公益社団法人取得に向けて定款変更することを決議
 森嶋祥之の会長勇退、今井宣子新会長就任
 大臨技臨床検査データ標準化講演会開催第 57 回日本医学検査学会（札幌市）
 第 1 回大臨技臨床検査データ標準化事業参加施設募集開始
 第 1 回公益法人移行委員会開催
 第 48 回近畿医学検査学会（神戸市）
 日臨技エイズ予防啓発活動（世界エイズデー）参加
 「公益法人制度改革関連 3 法」施行（12 月 1 日）
- 平成 21 年 臨床検査技師教育機関への「大臨技会長賞」授与開始
 大臨技事務所移転（ニチマンビルより大阪府医師共同組合東館へ）（4 月 1 日）
 記念誌「年輪 V」発行
 第 58 回日本医学検査学会及びケンサ EXPO'09（神奈川パシフィコ横浜）
 （7 月 30 日～8 月 2 日）
- 平成 22 年（2010 年） 5 月第 59 回日本医学検査学会（神戸市）
 12 月第 50 回近畿医学検査学会（奈良市）
- 平成 23 年（2011 年） 6 月第 60 回日本医学検査学会（東京都）

今井宣子会長勇退、運天政五郎新会長就任

9月第51回近畿医学検査学会（大津市）

平成24年（2012年） 6月第61回日本医学検査学会（津市）

9月第52回日臨技関西支部医学検査学会（和歌山南紀白浜）

公益社団法人としての歩み（平成25年～令和4年）

平成25年（2013年） 5月第62回日本医学検査学会（高松市）

9月公益社団法人へ移行（9月2日）

10月第53回日臨技近畿支部医学検査学会（福井市）

平成26年（2014年） 6月第63回日本医学検査学会（新潟市）

9月第54回日臨技近畿支部医学検査学会（神戸市）

平成27年（2015年） 5月第64回日本医学検査学会（福岡市）

運天政五郎会長勇退、竹浦久司新会長就任

10月第55回日臨技近畿支部医学検査学会（大阪市）

平成28年（2016年） 5月第56回日臨技近畿支部医学検査学会（和歌山市）

9月法人設立30周年・技師会創立65周年記念式典・祝賀会（9/17）

9月第65回日臨技医学検査学会・第32回世界医学検査学会（神戸市）

平成29年（2017年） 2月第1回大臨技医学検査学会（大阪府立国際会議場）

2月厚生労働大臣表彰3名

6月第66回日本医学検査学会（浜松市）

10月第57回日臨技近畿支部医学検査学会（京都市）

平成30年（2018年） 1月大臨技新年互礼会（ホテルグランヴィア大阪）

2月第2回大臨技医学検査学会（大阪府立国際会議場）

5月憲法記念日大阪府知事表彰1名

5月第67回日本医学検査学会（浜松市）

12月第58回日臨技近畿支部医学検査学会（奈良市）

平成31年（2019年） 1月大臨技新年互礼会（アートホテル大阪ベイタワー）

令和元年 2月第3回大臨技医学検査学会（大阪府立国際会議場）

3月大臨技災害対策マニュアル作成

5月憲法記念日大阪府知事表彰1名

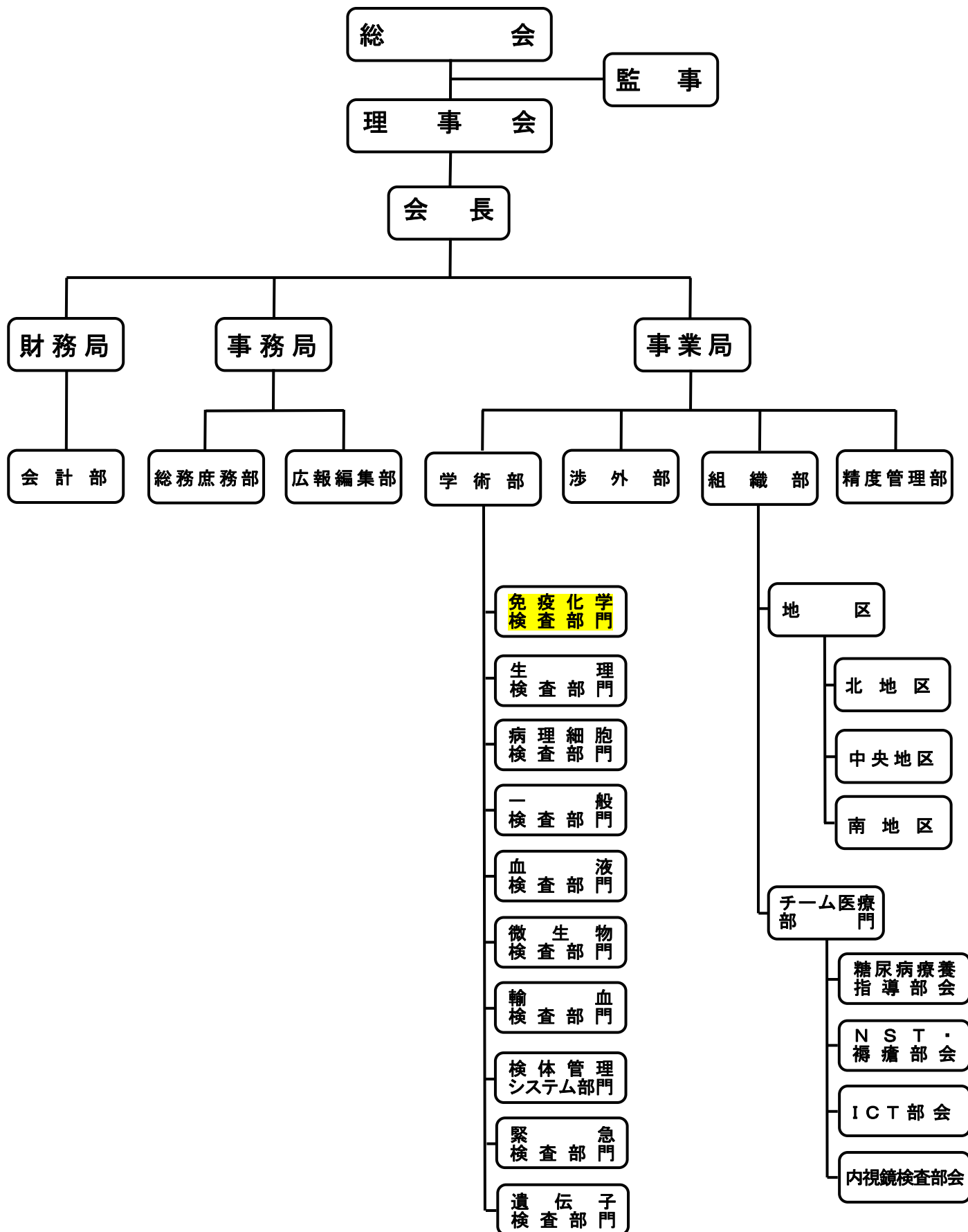
5月第68回日本医学検査学会（下関市）

竹浦久司会長勇退、高田厚照新会長就任
10月第59回日臨技近畿支部医学検査学会（大津市）

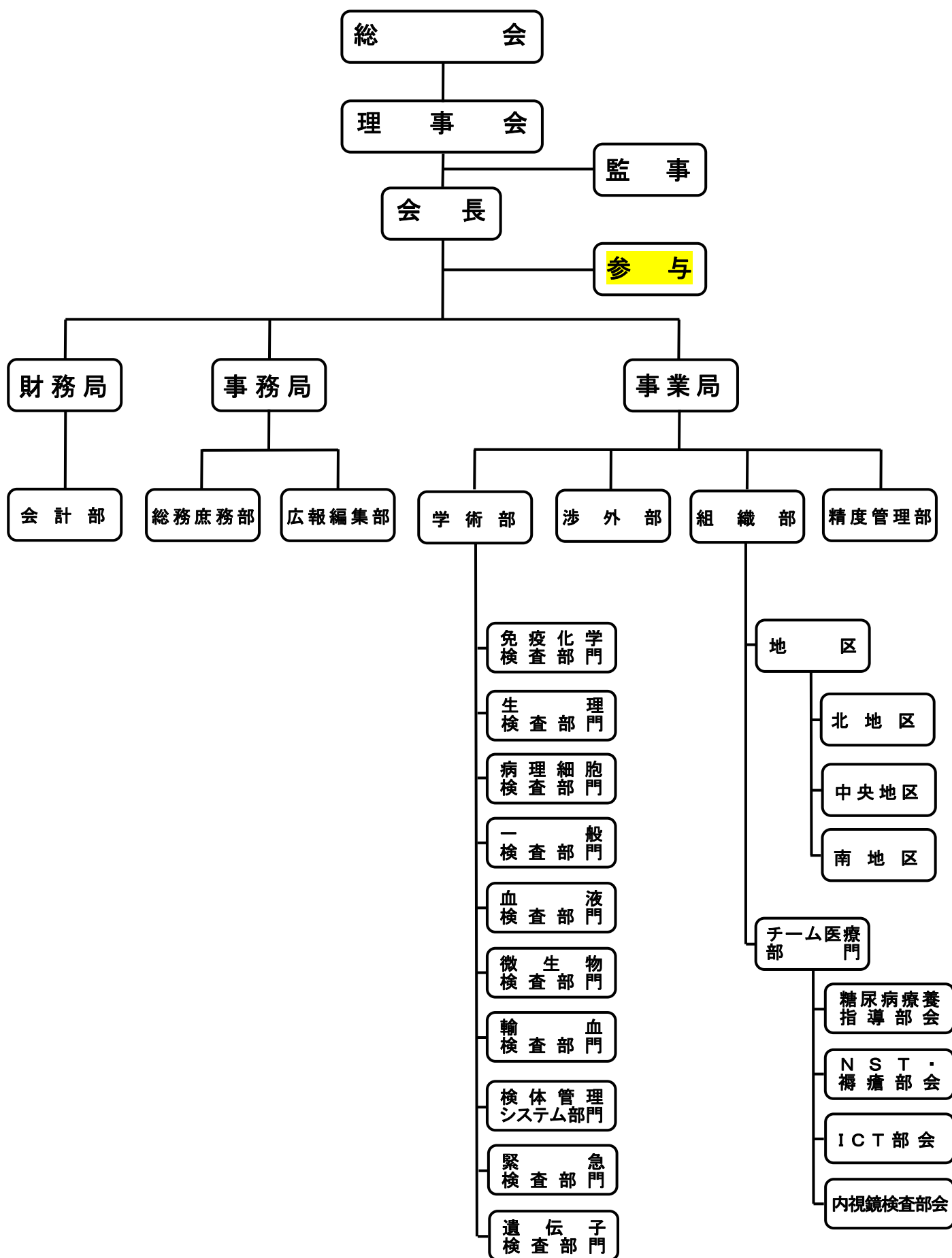
- 令和2年（2020年）
- 1月大臨技新年互礼会（アートホテル大阪ベイタワー）
 - 2月第4回大臨技医学検査学会（千里ライフサイエンスセンター）
（第30回生物試料分析科学会年次学術集会と同時開催）
 - 3月緊急事態宣言 3/13 4/7-5/25
 - 4月大臨技ニュース Web版発行開始
 - 5月憲法記念日大阪府知事表彰1名
 - 9月 旭日双光章 朝山均氏 受章
 - 9月第69回日本医学検査学会（千葉市）
- 令和3年（2021年）
- 1月緊急事態宣言 1/8-3/21
 - 2月公衆衛生協会会長賞1名 厚生労働大臣表彰1名
 - 4月緊急事態宣言 4/25 4/25-6/20
 - 5月第70回日本医学検査学会（熊本オンデマンド）
 - 11月第60回日臨技近畿支部医学検査学会（福井オンデマンド）
 - 12月大臨技ホームページリニューアル
- 令和4年（2022年）
- 2月第5回大臨技医学検査学会（大阪府立国際会議場）開催中止
 - 2月厚生労働大臣表彰1名
 - 4月大臨技ニュース紙面版発行廃止
 - 大臨技事務所クラウドサーバー&NAS導入開始
 - 5月憲法記念日大阪府知事表彰2名
 - 5月5/21~5/22 第71回日本医学検査学会（大阪 ATC ホール&ホテル
ハイアットリージェンシー）
 - 高田厚照会長勇退、増田詩織新会長就任
 - 12月 第61回日臨技近畿支部医学検査学会（神戸市）

大臨技の組織

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 組織図 (2017年4月～2019年5月)

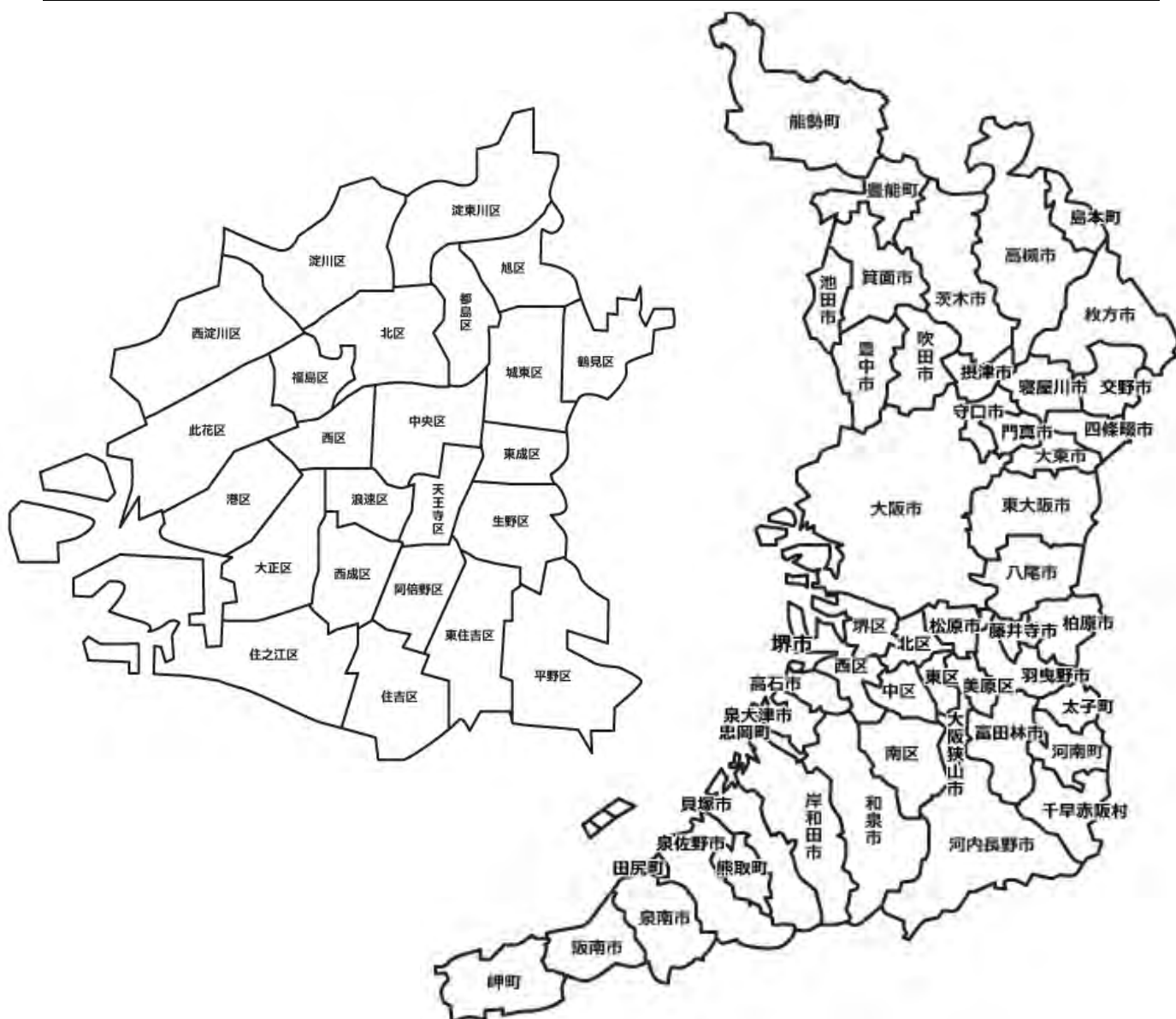


公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 組織図 (2019年4月 ~ 2023年3月)



公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 地区区分

地区	市区郡
北地区	第1区 高槻市 茨木市 三島郡
	第2区 吹田市 摂津市
	第3区 豊中市 箕面市 池田市 豊能郡
中央地区	第4区 枚方市 寝屋川市 門真市 守口市
	第5区 城東区 鶴見区 四條畷市 大東市 交野市
	第6区 東淀川区 淀川区 旭区 都島区
	第7区 北区 福島区
	第8区 東成区 中央区
	第9区 生野区 天王寺区
	第10区 西区 此花区 大正区 港区 浪速区 西淀川区
	第11区 住之江区 平野区 西成区 東住吉区 住吉区 阿倍野区
	第12区 東大阪市 八尾市 柏原市
	南地区
第14区 堺市 大阪狭山市 河内長野市	
第15区 高石市 和泉市 泉北郡 泉大津市 岸和田市	
第16区 貝塚市 泉佐野市 泉南市 泉南郡 阪南市	





第1部 特集

法人設立 30 周年技師会創立 65 周年 記念式典記念祝賀会

事務局 梶 勝史

平成 28 年、当会は法人設立 30 周年、技師会創立 65 周年を迎えた。記念事業として平成 28 年 9 月 17 日(土)午後 3 時よりホテル大阪ベイタワーにて記念式典並びに記念祝賀会を開催した。

記念式典はベイタワーホール (1/3 東会場)にて開催し、司会は前毎日放送ラジオ局プロデューサーの伊東正治氏に依頼をした。吉本勝美副会長の開式の辞に始まり竹浦久司会長の式辞、来賓による祝辞、来賓紹介、祝電披露の後、功労者に対して大阪府知事表彰、会長賞、賛助会員に感謝状の贈呈が行われた。高田厚照副会長による閉式の辞により厳かに閉会した。

引き続き午後 4 時 15 分よりベイタワーホール (2/3 西会場)にて伊東氏による司会の元、祝賀会が開催された。田畑泰弘常務理事による開宴の辞、竹浦会長の挨拶、来賓挨拶の後、兵庫県臨床検査技師会の中町祐司会長による乾杯の発声で祝賀会が始まった。余興として虹 友美氏と久保田芽里理事による三味線の演奏が披露された。松永清輝元会長による万歳三唱、運天政五郎顧問による閉宴の辞により祝賀会は盛会裏に閉宴した。



法人設立30周年 技師会創立65周年

記念式典 記念祝賀会



平成28年9月17日

ホテル大阪ベイタワー

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

技師会のあゆみ

当会は、1950年（昭和25年）に施行された「大阪府細菌検査条例」を受けて結成された「大阪細菌検査協会」を源流とする。

1958年（昭和33年）に「衛生検査技師法」が成立、同年に第1回衛生検査技師国家試験が行なわれ名実ともに技術者会から技師が中心となる「日本衛生検査協会大阪支部」が設立され、翌年の1959年（昭和34年）に「日本衛生検査協会」として全国組織になった。以後、「日本衛生検査協会」は「日本衛生検査技師会」（1961年・昭和36年）に、翌1962年（昭和37年）には当会が「大阪府衛生検査技師会」と改称、改組が行なわれた。

その後、衛生検査（臨床検査）の発展とともに、1970年（昭和45年）に「臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律」が制定され、ここに「臨床検査技師」が誕生した。

「臨衛技法」制定以降においても当会は、学術の大阪と言われるように学術活動において各検査部門活動を活発に実施、生涯教育についても全国に先駆け卒業教育プロジェクト委員会を設置（1980年・昭和55年）、活動した。これらの事業活動が評価され、1985年（昭和60年）に社団法人設立許可が下り、翌1986年（昭和61年）には登記完了、社団法人大阪府臨床衛生検査技師会となった。これを機に公益法人として、学術活動はもとより公衆衛生への寄与をはかるべく組織強化・充実をしながら大阪府民・市民に向けての健康展参加、献血推進運動等に積極的に対応、1998年（平成10年）には、32年ぶりに第47回日本臨床衛生検査学会を担当、盛会裏に終了した。

2000年（平成12年）には、法人設立15周年とともに技師会創立50周年という歴史ある記念があり、また、第40回近畿医学検査学会をも担当するという二重の慶びがあった。

2003年（平成15年）に「社団法人大阪府臨床検査技師会」と名称変更、そして法人設立20周年という文字通り人生でいうところの「成人の日」を迎えた。

2013年（平成25年）に大阪府より公益社団法人として認定をされ、「公益社団法人大阪府臨床検査技師会」と名称変更を行った。その後、2015年（平成27年）に第55回日臨技近畿支部医学検査学会（10月17・18日、大阪国際交流センター）を担当し、成功裏に終了した。

そして今日ここに、法人設立30周年 技師会創立65周年という節目を迎え、新たな飛躍を目指すこととなった。

◆ 記念式典次第 ◆

司会 伊東正治
(前 毎日放送ラジオ局プロデューサー)

- 開式の辞** 大阪府臨床検査技師会 吉本勝美
副会 長
- 式 辞** 大阪府臨床検査技師会 竹浦久司
会 長
- 来賓祝辞** 大阪府健康医療部長 上家 和子 様
大阪市健康局長 甲田 伸一 様
大阪府医師会 茂松 茂人 様
大会 長
日本臨床衛生検査技師会 宮島 喜文 様
会 長
- 来賓紹介**
- 祝電披露**
- 表彰** 大阪府知事表彰
会 長 賞 状
感謝 状
受 彰 者 代 表 謝 辞
- 閉式の辞** 大阪府臨床検査技師会 高田厚照
副会 長

◆ 記念祝賀会次第 ◆

司会 伊東正治
(前 毎日放送ラジオ局プロデューサー)

- 開宴の辞** 大阪府臨床検査技師会 田畑泰弘
常務理事
- 挨拶** 大阪府臨床検査技師会 竹浦久司
会 長
- 来賓祝辞** 大阪府薬剤師会 藤垣哲彦 様
会 長
大阪府看護協会 高橋弘枝 様
会 長
大阪府診療放射線 牧島展海 様
技師会 会 長
大阪府栄養士会 藤原政嘉 様
会 長
日本臨床検査医学会 一山智 様
近畿支部 長
前日臨技近畿支部 中町祐司 様
(兵庫県臨床検査技師会 会 長)
- 乾 杯**
- 余 興** 三味線奏者 虹友美 様
- 万歳三唱** 大阪府臨床衛生検査 松永清輝
技師会 元 会 長
- 閉宴の辞** 大阪府臨床検査技師会 運天政五郎
副 会 長

◆ 御来賓芳名 ◆ (順不同)

- 大阪府健康医療部 部長 上家 和子 様
大阪府健康医療部 室長 牟田 恵美子 様
大阪市健康局 健康局長 甲田 伸一 様
大阪市保健所 保健副主幹 瀬尾 史子 様
堺市保健所 所 長 山崎 眞理江 様
東大阪市保健所 所 長 松本 小百合 様
豊中市保健所 所 長 松岡 太郎 様
一般社団法人 大阪府私立病院協会 会 長 生野 弘道 様
公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会 会 長 伊藤 久夫 様
公益社団法人 大阪府看護協会 会 長 高橋 弘枝 様
一般社団法人 大阪府作業療法士会 会 長 上田 任克 様
一般社団法人 大阪エイフボランティア ネットワーク会 会 長 上ノ山 幸子 様
一般社団法人 大阪府歯科医師会 会 長 太田 謙司 様
NPO法人 関西消費者連合会 理 事 長 角田 禮子 様
公益社団法人 大阪介護老人保健施設協会 会 長 川合 秀治 様
一般社団法人 大阪精神科病院協会 会 長 河崎 建人 様
公益財団法人 大阪市ひとり親家庭福祉 連 合 会 会 長 小林 眞喜子 様
大阪市PTA協議会 会 長 小林 良堂 様
一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション 協 会 会 長 榮木 教子 様

- 大阪府PTA協議会 会 長 佐々木 一智 様
関西生活者連合会 理 事 長 渡久地 歌子 様
一般社団法人 大阪府病院薬剤師会 会 長 但馬 重俊 様
社会福祉法人 大阪府母子寡婦福祉連合会 理 事 長 滝本 美津代 様
NPO法人 日本主婦連合会 理 事 長 東瀬 幸枝 様
一般社団法人 大阪府歯科技工士会 会 長 清水 潤一 様
公益社団法人 大阪府鍼灸師会 会 長 得本 誠 様
一般社団法人 大阪市老人クラブ連合会 理 事 長 中 保 昌 様
一般社団法人 大阪府医師会 副 会 長 高井 康之 様
一般社団法人 大阪府病院協会 会 長 福原 毅 様
一般社団法人 大阪府言語聴覚士会 会 長 藤井 達也 様
一般社団法人 大阪府薬剤師会 会 長 藤垣 哲彦 様
公益社団法人 大阪府栄養士会 会 長 藤原 政嘉 様
一般社団法人 大阪府助産師会 会 長 保元 明子 様
公益社団法人 大阪府診療放射線技師会 会 長 牧島 展海 様
公益社団法人 大阪府歯科衛生士会 会 長 丸山 直美 様
一般社団法人 大阪府臨床工学技士会 会 長 村中 秀樹 様
公益社団法人 大阪府柔道整復師会 副 会 長 増井 英明 様
大阪市地域女性団体協議会 会 長 矢田貝 喜佐枝 様

公益社団法人 大阪府理学療法士会会長 山 川 智 之 様
 一般財団法人 大阪府老人クラブ連合会会長 山 下 修 様
 京都大学大学院医学研究科・医学部教授 一 山 智 様
 京都和光純菓株式会社代表取締役社長 中 村 和 彦 様
 一般社団法人日本衛生検査所協会近畿支部支 広 田 周 一 様
 一般社団法人日本衛生検査所協会近畿支部支 山 口 宏 茂 様
 学 術 委 員 長
 近 畿 大 学 医 学 部 教 授 上 裕 俊 法 様
 株式会社ファルコホールディングス代 赤 澤 寛 治 様
 表 取 締 役 社 長
 公立大学法人 和歌山県立医科大学教授 赤 水 尚 史 様
 関 西 労 災 病 院 依 藤 史 郎 様
 大 阪 大 学 大 学 院 教 授 岩 谷 良 則 様
 一般社団法人 日本衛生検査所協会会長 江 川 洋 様
 大阪医科大学附属病院中央検査部部長 岡 田 仁 克 様
 滋 賀 医 科 大 学 教 授 九 嶋 亮 治 様
 一般財団法人 摂津市保健センター理事長 河 野 公 一 様
 兵 庫 医 科 大 学 主 任 教 授 小 柴 賢 洋 様
 大 阪 府 医 師 協 同 組 合 理 事 長 小 谷 泰 様
 株式会社日本食品エコロジー研究所代 佐 守 友 博 様
 表 取 締 役 社 長
 琵琶湖中央病院 病 院 長 高 橋 伯 夫 様

株 式 会 社 じ ほ う 中 野 雅 弘 様
 公益財団法人 堺市救急医療事業団理事長 樋 上 忍 様
 大阪大学医学部附属病院部長 日 高 洋 様
 公益財団法人 吹田市健康づくり推進事業団 三 谷 一 裕 様
 理 事 長
 佛 教 大 学 教 授 山 村 卓 様
 京 都 府 立 医 科 大 学 講 師 稲 葉 亨 様
 関 西 医 療 大 学 教 授 近 藤 弘 様
 神 戸 常 盤 大 学 教 授 松 田 正 文 様
 大阪行岡医療専門学校校長柄校教務主任 小 市 加 陽 子 様
 日本医療学院専門学校学科長 西 野 康 幸 様
 天 理 医 療 大 学 教 授 松 尾 収 二 様
 大阪医療技術学園専門学校学科長 松 良 尚 子 様
 森ノ宮医療大学副学長・臨床検査学科長 上 田 真 喜 子 様

◆ 受 彰 者 氏 名 ◆ (順不同・敬称略)

■ 大 阪 府 知 事 表 彰 (7名)

荒 木 年 夫
 田 畑 泰 弘
 井 戸 田 篤
 出 野 憲 由
 酒 井 正 容
 宮 野 章
 栗 本 誠 一

■ 会 長 賞 (10名)

朴 國 允
 池 田 勝 美
 吉 本 茂
 藤 岡 一 也
 宇 津 野 美 弥 子
 阿 尾 浩 子
 鳩 宿 敏 彦
 池 本 敏 行
 平 島 瑞 子
 福 田 篤 久

■ 感 謝 状 (72社)

アークレイマーケティング株式会社
 アイ・エル・ジャパン株式会社
 アボットジャパン株式会社
 アリーア メディカル株式会社
 アルフレッサ株式会社
 アルフレッサファーマ株式会社
 株式会社医学生物学研究所
 株式会社イムコア
 株式会社エイアンドティー
 栄研化学株式会社
 エーディア株式会社
 株式会社エスアールエル
 株式会社LSIメディエンス
 株式会社大阪血清微生物研究所
 オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
 大塚製薬株式会社
 株式会社カイノス
 関西アイエヌエスサービス株式会社
 関東化学株式会社
 株式会社関薬
 協和メデックス株式会社

極東製薬工業株式会社
株式会社ケーエスケー
小西医療器株式会社
サクラファインテックジャパン株式会社
株式会社三和化学研究所
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
シスメックス株式会社
株式会社シノテスト
白井松器械株式会社
株式会社スズケン
積水メディカル株式会社
株式会社タウンズ
竹内化学株式会社
株式会社中央微生物検査所
チェスト株式会社
株式会社テクノメディカ
テルモ株式会社
デンカ生研株式会社
東芝メディカルシステムズ株式会社
東ソー株式会社
東洋羽毛関西販売株式会社

東洋紡株式会社
日水製薬株式会社
ニッターボーメディカル株式会社
ニプロ株式会社
日本医学株式会社
日本電子株式会社
株式会社バイオテック・ラボ
バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
一般財団法人 阪大微生物病研究会
株式会社 ビー・エム・エル
日立アロカメディカル株式会社
株式会社日立ハイテクノロジー
株式会社 ファルマ
フクダ電子近畿販売株式会社
不二化学薬品株式会社
富士フイルムメディカル株式会社
富士レビオ株式会社
ベックマン・コールター株式会社
松浪硝子工業株式会社
株式会社ミズホメディー
ミナト医科学株式会社

武藤化学株式会社
株式会社メディセオ
株式会社メディック
メルク株式会社
八洲薬品株式会社
ラジオメーター株式会社
株式会社レイデックス
ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
和光純薬工業株式会社

大臨技 新年互礼会

事務局 梶 勝史

平成30年から会員相互の交流・親睦を深めることを目的として、新年互礼会を開催した。平成30年は139名の参加があり、平成31年は178名の参加、翌令和2年は156名の参加をいただいた。令和3年、令和4年は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するためやむなく中止の決断をおこなった。令和5年は3年ぶりの開催となり141名の参加をいただいた。令和5年新年互礼会はコロナ禍を払拭し、新たな気持ちで会員皆様方のご要望に応えられるよう役員一同が心を一にする素晴らしい機会となった。

多数の方々に参加いただき感謝申しあげる。

平成30年新年互礼会

開催日:平成30年1月8日(月) 14:00~16:00

会 場:ホテルグランヴィア大阪 20階 鳳凰

参加人数:139名

(内訳)来賓 29名、賛助会員 73名、大臨技元役員9名、大臨技会員2名、
大臨技役員(事務員含む)26名

祝電・メッセージ:16通

式次第:

司 会 高田 厚照 (大阪府臨床検査技師会副会長)

開会の辞 井戸田 篤 (大阪府臨床検査技師会副会長)

会長挨拶 竹浦 久司 (大阪府臨床検査技師会会長)

来賓祝辞 藤井 睦子 (大阪府健康医療部長)

代読:柴田 敏之 (大阪府健康医療部保健医療室医療対策課課長)

左藤 章 (自由民主党大阪府支部連合会会長・衆議院議員)

藤垣 哲彦 (大阪府薬剤師会会長)

高橋 弘枝 (大阪府看護協会会長)

牧島 展海 (大阪府診療放射線技師会会長)

祝電披露

乾 杯 中村 和彦(日本臨床検査薬卸連合会近畿支部支部長)

祝宴・歓談

来賓祝辞 衆議院議員 中山 泰秀 他11名

参議院議員 太田 房江 他1名

社名変更紹介 キヤノンメディカルシステムズ株式会社

和光純薬工業株式会社

万歳三唱 松永 清輝 (大阪府臨床検査技師会第4代元会長)

小林 紀崇 (大阪府臨床検査技師会第7代元会長)

閉会挨拶 杉山 昌晃 (大阪府臨床検査技師会副会長)

平成 31 年 新年互礼会

開催日: 平成 31 年1月 13 日(日)14:00~16:00

会場: アートホテル大阪ベイタワー 4 階 アートグランドボールルーム

参加人数: 178 名

(内訳)来賓 34 名、賛助会員 84 名、大臨技元役員7名、大臨技会員 12 名、大臨技各部委員 24 名、
大臨技役員(事務員含む)17 名

祝電・メッセージ: 21 通

式次第:

司 会	高田 厚照 (大阪府臨床検査技師会 副会長)
開式挨拶	井戸田 篤 (大阪府臨床検査技師会副会長)
会長挨拶	竹浦 久司 (大阪府臨床検査技師会会長)
来賓祝辞	宮島 喜文 (日本臨床衛生検査技師会会長)
	藤井 睦子 (大阪府健康医療部部長)
	藤垣 哲彦 (大阪府薬剤師会会長)
	左藤 章 (自由民主党大阪府支部連合会会長・衆議院議員)

祝電披露

乾 杯 中村 和彦(日本臨床検査薬卸連合会副会長)

祝宴・歓談

余 興 獅子の舞・南京玉すだれ 福招き獅子

万歳三唱 小林 紀崇 (大阪府臨床衛生検査技師会第7代元会長)

閉会挨拶 杉山 昌晃 (大阪府臨床検査技師会副会長)

令和2年新年互礼会

開催日: 令和2年1月 12 日(日) 14:00~16:00

会 場: アートホテル大阪ベイタワー 4階 アートグランドボールルーム

参加人数 156 名

(内訳)来賓 31 名、賛助会員 79 名、大臨技元役員7名、大臨技会員7名、大臨技各部委 15 名、大臨技
役員(事務員含む)17 名

祝電・メッセージ: 19 通

式次第:

司 会	井戸田 篤 (大阪府臨床検査技師会副会長)
開式挨拶	杉山 昌晃 (大阪府臨床検査技師会副会長)
会長挨拶	高田 厚照 (大阪府臨床検査技師会会長)
来賓祝辞	宮島 喜文 (日本臨床衛生検査技師会会長・参議院議員)
	藤井 睦子 (大阪府健康医療部部長)
	藤垣 哲彦 (大阪府薬剤師会会長)
	高橋 弘枝 (大阪府看護協会会長)
	大塚 高司 (自民党大阪府連会長・衆議院議員)

祝電披露

乾 杯 正岡 裕嗣（近畿臨床検査薬卸連合会長）

祝宴・歓談

余 興 フォトストーリー／大臨技活動報告 増田 詩織（大阪府臨床検査技師会常務理事）

万歳三唱 小林 紀崇（大阪府臨床衛生検査技師会第7代元会長）

閉会挨拶 酒井 正容（大阪府臨床検査技師会副会長）

令和3年新年互礼会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

令和4年新年互礼会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

令和5年新年互礼会

開催日:令和5年1月8日(日) 14:00~16:00

会 場:アートホテル大阪バイタワー 4階 アートグランドボールルーム

参加人数:141名

(内訳)来賓 23名、賛助会員 74名、大臨技元役員6名、大臨技会員 10名、大臨技各部委員5名、
大臨技役員(事務員含む)23名

祝電・メッセージ:13通

式次第:

司 会 上田 一仁(大阪府臨床検査技師会副会長)

開式挨拶 山西 八郎(大阪府臨床検査技師会副会長)

会長挨拶 増田 詩織(大阪府臨床検査技師会会長)

来賓祝辞 乾 英夫(大阪府薬剤師会会長)

弘川 摩子(大阪府看護協会会長)

藤田 秀樹(大阪府診療放射線技師会会長)

代読:山元 浩史（大阪府診療放射線技師会常務理事）

宮島 喜文（日本臨床衛生検査技師会会長）

代読:滝野 寿（日本臨床衛生検査技師会専務理事）

宗清 皇一（自由民主党大阪府支部連合会会長・衆議院議員）

乾 杯 中村 和彦（日本臨床検査薬卸連合会会長）

祝宴・歓談

学会報告 梶 勝史（第71回日本医学検査学会事務局長）

余 興 Music Live / Hiroshi Hata

万歳三唱 小林 紀崇（大阪府臨床衛生検査技師会第7代元会長）

閉会挨拶 梶 勝史（大阪府臨床検査技師会副会長）

平成 31 年新年互例会



献血推進活動

渉外部 五十里 大介

渉外部では輸血用血液製剤が減少する夏(8月)と冬(2月)に、府民の皆さんにより多くの献血のご協力をいただくことを目的とする献血推進活動を実施しております。大臨技会員や賛助会員、臨床検査技師養成学校の学生ボランティアにもご協力いただき、活動は2022年8月現在、58回目を迎えることができました。

主な活動内容は、街頭に献血バスを配車し、献血推進活動用ポケットティッシュの配布や献血プラカードを手に持ち府民に献血へのご協力を呼びかける活動です。本活動の50回目には呼びかけに献血推進キャラクターの「けんけつちゃん」の着ぐるみの使用や、ミニライブを行うなど活動の幅も広がっております。活動場所は、2015年までは2月、8月ともに難波グリーンガーデンで実施しておりましたが、2016年から2017年の2年間、8月は京橋駅前広場で実施しました。2018年からは人通りや全天候に対応できるよう、2月、8月ともに京阪電車高架下の京橋駅前広場で実施しております。

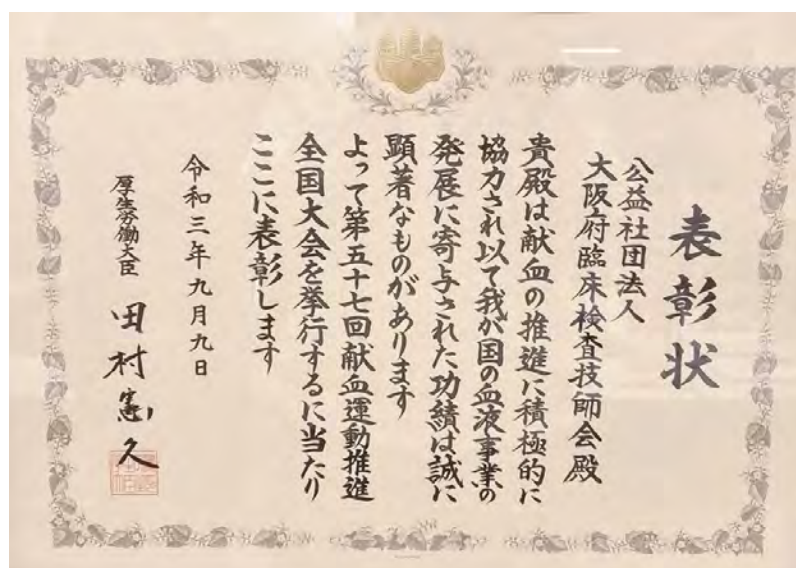
多くの呼びかけボランティアの活動により、毎回多くの献血者の方にご協力いただくことができいております。近年では、活動当日に大阪府内に配車された全ての献血バスのうち、我々が活動する京橋駅前広場が最も多くの献血者にご協力をいただくことができ成果を上げております。

新型コロナウイルス感染症拡大の最中も、献血は不要不急では無いことやコロナ禍で献血者数の減少もあったため、アルコール消毒や活動の開始前開始後に検温を行うなど感染対策をとった上で、我々は活動を中止せず街頭での呼びかけを継続しました。また一方で、コロナ禍のため活動に参加できないボランティアも多く、感染対策の一環として着ぐるみを使った呼びかけやポケットティッシュの配布を中止するなど活動内容に制限はありましたが、以前と変わらず多くの献血者にご協力をいただくことができいております。

令和3年9月には、平成5年から始まった献血推進活動について長年の活動功績が認められ、厚生労働大臣表彰を受賞でき、活動そのものの有益性も国に認められました。献血者が減少傾向の今日、輸血用血液製剤の安定確保には多くの献血者の協力が必要ですので、今後とも本活動を継続していきたいと考えております。

献血者数の記録

2022年8月20日 献血者数 66名
 2022年2月19日 献血者数 59名
 2021年8月21日 献血者数 63名
 2021年2月20日 献血者数 62名
 2020年8月15日 献血者数 62名
 2020年2月15日 献血者数 77名
 2019年8月17日 献血者数 80名
 2019年2月16日 献血者数 68名
 2018年8月18日 献血者数 75名
 2018年2月17日 献血者数 61名
 2017年8月19日 献血者数 68名



臨床検査データ標準化事業

精度管理部 竹村 真俊

臨床検査データ標準化事業の標準化サーベイも令和4年度で第15回を迎えました。標準化を進める上で大臨技では第1回から一貫して方法別、メーカー別での評価では意味をなさないと考え一括評価を実施してきました。当初は、会員の皆様や、メーカーからも厳しいのではないかとのお声いただきましたが、施設間差是正へ向けてくれることなく15回を迎えることが出来ました。

第1回のサーベイ調査項目は7項目(AST、ALT、GGT、Glu、TG、HDL-C、LDL-C)でしたが、第5回(平成24年度)より生化学27項目、CBC6項目へと拡張され現在に至っています。(参加施設数と項目を表1、表2に示します)

この間、生化学項目については、全体として着実に標準化が推進されていると実感しており、施設間差は収束し、その代わりに方法・メーカー間差が顕在化してきたのではないかと考えています。また、CBC項目では特に血小板で大きなバラツキが認められましたが、これも年々有意に収束し、当初はZ変換による評価も取り入れていましたが、現在ではほぼ一括評価が出来るようになりました。

また、大臨技標準化サーベイでは試料にもこだわり、ボランティアから採血を行い、より実検体に近い試料を調整しサーベイに用いていました。しかしながら、2020年からの新型コロナウイルス感染症拡大により、医療施設をお借りして試料を作製することが困難となり、やむなく2020年度(令和2年度)のサーベイは中止となりました。また、2021年度(令和3年度)・2022年度(令和4年度)のサーベイは市販の管理血清のみを用いることとなり、参加していただいた施設の方々にはご迷惑をおかけしました。来年度は、なんとか実検体に近い試料を作成し、サーベイを実施したいと考えておりますので、より多くの施設の方にご参加いただけますようお願い申し上げます。

表1



表2

臨床化学	含窒素	6項目	TP・ALB・T-BIL・UN・Cre・UA
	電解質	6項目	Na・K・CL・Ca・IP・Fe
	糖質	2項目	Glu・HbA1c
	脂質	4項目	TC・HDL-C・LDL-C・TG
	酵素	8項目	AST・ALT・LD・ALP・GGT・CK・AMY・ChE
免疫		1項目	CRP
CBC		6項目	RBC・WBC・Hb・Ht・PLT・MCV

府民健康フォーラム

渉外部 岡本 秀雄

府民健康フォーラムは、「私たちの薬・栄養・臨床検査」をサブタイトルに、一般社団法人 大阪府薬剤師会・公益社団法人 大阪府栄養士会と当会の3団体が年1回開催しているフォーラムです。大阪府民の皆さまに生活習慣病をはじめとする様々な疾患の知識を「臨床検査・薬・栄養」の各専門家から提供し、日常の健康管理に役立てて頂くことを目的としています。2005年度に第1回を開催し、2022年度で第17回目を迎えることができました。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大でやむを得ず中止となりましたが、2021年度はYouTubeでのオンデマンド配信として開催し、コロナ禍でも開催にこぎつけました。2022年度の第17回府民健康フォーラムでは、感染対策のため収容人数を減らしての現地開催とその講演を収録編集後、YouTubeでのオンデマンド配信としました。コロナ禍であっても何らかの形で、府民の皆さまへ情報発信していきたいと考えております。近い将来、新型コロナウイルス感染が収束し、コロナ前のように府民の方々が気兼ねなく来場していただける府民健康フォーラムになることを願っています。

第17回府民健康フォーラム

2022(令和4)年12月18日(日) 大阪府薬剤師会館 大ホール

配信期間:2023(令和5)年1月10日(火)～1月31日(火) オンデマンド配信

テーマ:「感染症から身を守るために」

- 【基調講演】 かぜ、インフルエンザ、そしてコロナ
大阪府済生会中津病院 呼吸器内科部長 上田 哲也
- 【講演Ⅰ】 感染症診療における微生物学的検査
大阪警察病院 臨床検査科 有村 泰晃
- 【講演Ⅱ】 感染症に気をつけよう
一般社団法人 大阪府薬剤師会 理事 岡村 武
- 【講演Ⅲ】 感染症と栄養 ～感染症に負けない食生活～
公益社団法人 大阪府栄養士会 理事
大阪市立総合医療センター医療技術部 蔵本 真宏

第16回府民健康フォーラム

配信期間:2021(令和3)年11月8日(月)～11月21日(日) オンデマンド配信

テーマ:「100歳までいきいきと ～認知症・フレイルなんて怖くない～」

- 【講演Ⅰ】 「認知症」～かかりつけ薬剤師としての関わり～
一般社団法人 大阪府薬剤師会理事 篠原 裕子
- 【講演Ⅱ】 物忘れ・・・もしかして認知症予備軍？
いわた脳神経外科クリニック 是枝 真由美
- 【講演Ⅲ】 「食生活とフレイル」～認知症を予防しよう～
社会医療法人 啓仁会 咲花病院 高橋 純子

第 15 回府民健康フォーラム

2019(令和元)年 12 月 8 日(日) 梅田ブリーゼプラザ小ホール

テーマ:「目の健康を考える ～人生 100 年時代 明るく過ごすために～」

【基調講演】 糖尿病網膜症について

一般社団法人 大阪府眼科医会理事

関西医科大学附属病院 教授 山田 晴彦

【講演Ⅰ】 「アイケアサプリ」～明るい視界をつくりましょう

羽衣国際大学 講師 房 晴美

【講演Ⅱ】 眼疾患と臨床検査

社会医療法人きつこう会 多根記念眼科病院 医療技術部 北川 篤

【講演Ⅲ】 眼疾患の薬物療法と点眼薬の正しい使い方

一般社団法人 大阪府薬剤師会 常務理事 宮田 憲一

第 14 回府民健康フォーラム

2018(平成 30)年 11 月 23 日(金・祝) 梅田ブリーゼプラザ小ホール

テーマ:「心疾患を考える ～あなたのハートは大丈夫?～」

【基調講演】 心臓の病気って怖い?

一般社団法人 大阪府内科医会 副会長 泉岡 利於

【講演Ⅰ】 心臓病又は予防のための油の上手な使い方

羽衣国際大学 人間生活学部 食物栄養学科教授 石川 英子

【講演Ⅱ】 心疾患と臨床検査の関わり

公益社団法人大阪府臨床検査技師会 理事

大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 安保 浩二

【講演Ⅲ】 心疾患の効果的な薬物治療

一般社団法人 大阪府薬剤師会 常務理事 宮田 憲一

第 13 回 府民健康フォーラム

2017(平成 29)年 11 月 12 日(日) 梅田ブリーゼプラザ小ホール

テーマ:「健康長寿延伸のために ～ロコモ・フレイルを防ぐ～」

【基調講演】 健康寿命延伸のためにロコモ・フレイルを知ろう

一般社団法人 大阪府医師会 会長 茂松 茂人

【講演Ⅰ】 高齢者の臨床検査

大阪医科大学 三島南病院 臨床検査科 繁 正志

【講演Ⅱ】 ロコモティブシンドローム・フレイルを漢方的に考える

一般社団法人 大阪府薬剤師会 理事 杉本 幸枝

【講演Ⅲ】 ロコモ・フレイル予防のための食事で大切なこと

講師:公益社団法人 大阪府栄養士会 地域活動部会 山崎 綾子

大臨技・大放技合同フォーラム

渉外部 上地 裕美

大臨技・大放技合同フォーラムは、それぞれの職種の立場から臨床検査や放射線検査について講演をおこない公益社団法人大阪府臨床検査技師会と公益社団法人大阪府診療放射線検査技師会が、府民に暮らしと健康の医療情報を提供することを目的とし公開セミナーを毎年開催しております。

第23回 令和3年度(2021年度) 大放技・大臨技合同フォーラム

2022年1月15日(土) 大阪府医師協同組合会館本館 8階大ホール

テーマ:動脈血管の病気について～診断から治療まで～

- 【講演1】 下肢の動脈治療:下肢閉塞性動脈硬化症(ASO)に対するカテーテル治療について
森之宮病院 池田 幸弘
- 【講演2】 その足の痛み、運動不足のせい？
市立池田病院 衣川 尚知
- 【特別講演】 けんこう寿命を延ばすのに今出来ること
森之宮病院 循環器内科 福永 匡史

第22回 令和2年度(2020年度) 大臨技・大放技合同フォーラム

Web配信:2021年1月30日(土)～2021年2月14日(日)

テーマ:新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について

- 【講演1】 感染症の画像診断～COVID-19と感染防御～
りんくう総合医療センター 鎌田 洸哉
- 【講演2】 新型コロナウイルス検査は何故すぐにできないの？～コロナウイルス検査の裏側教えます！～
大阪医科大学附属病院 榎谷 亮太
- 【特別講演】 新型コロナウイルス感染症の治療経験について
関西医科大学総合医療センター 副院長 中森 靖

第21回 令和元年度(2019年度) 大放技・大臨技合同フォーラム

2020年1月18日(土) 大阪府医師協同組合会館本館 8階大ホール

テーマ:沈黙の臓器 膵臓へのチャレンジ～早期発見・早期治療～

- 【講演1】 みえる・視える・診える 膵臓
大阪市立大学医学部附属病院 中間 翔太
- 【講演2】 そこに癌はあるんか？本当に癌はあるんか？
元大阪赤十字病院 稲山 久美子
- 【特別講演】 膵癌の早期発見への取り組み
大阪赤十字病院 循環器内科 副部長 浅田 全範

第 20 回 平成 30 年度(2018 年度) 大臨技・大放技合同フォーラム

2019 年 1 月 19 日(土) 大阪府医師協同組合会館本館 8階大ホール

テーマ:物忘れ?それとも認知症?～いま!早期発見のための検査と治療法～

【講演 1】 忘れないで!認知症の画像検査

大阪医療センター 藤崎 宏

【講演 2】 認知症・見落とさないためのチェック方法～認定認知症領域検査技師がお話します～

森内脳神経クリニック 是枝 麻由美

【特別講演】 認知症の診断と治療

大阪国際がんセンター 脳循環内科 主任部長 大江 洋史

第 19 回 平成 29 年度(2017 年度) 大放技・大臨技合同フォーラム

2018 年 1 月 27 日(土) 大阪国際交流センター 小ホール

テーマ:縁の下の力持ち「甲状腺」知られざる役割

【講演 1】 甲状腺機能を調べる血液検査

近畿大学医学部附属病院 増田 詩織

【講演 2】 甲状腺エコー検査の実際

相生病院 小島 和也

【特別講演】 甲状腺疾患の検査と治療方法:最近の話題

隈病院 内科副科長 西原 永潤

教育機関との連携(大臨技教育セミナー)

学術部 井戸田 篤

大阪府下の臨床検査教育機関(大学、専門学校)と大阪府臨床検査技師会(大臨技)が連携して企画・開催する、おもに学生を対象としたセミナーです。学生においては様々な就職先を知る良いチャンスでもあり、一般の臨床検査技師も参加することができます。各方面で活躍している臨床検査技師を知ることが可能です。

第1回開催の2006年(平成18年)から第16回開催2022年(令和4年)までを掲載しています。

第16回大臨技教育セミナー

2022年7月9日(土)13:30~16:00 Web開催

第1部 ワークショップ『働く卒業生からメッセージ』

- 1.大阪行岡医療推薦者 バンチャー企業での臨床検査技師 (株)レナテック 佐藤 史代
- 2.大阪医療推薦者 カスタマーサポート業務について (株)LSIメディエンス 城戸 敦哉
- 3.関西医療大学推薦者 新型コロナウイルス診療を支える検査 大阪急性期総合医療センター 辻 優真
- 4.森ノ宮医療大学推薦者 地域医療の中核病院で働いてみて 市立東大阪医療センター 香西 拓海
- 5.日本医療推薦者 少人数検査室のやりがい 医療法人琴仁会光生病院 中西 しおり

第2部 教育講演

『タスク・シフト/シェア講習会と今後の臨床検査技師の関わり』

大阪府臨床検査技師会 理事 谷川 崇

第15回大臨技教育セミナー

2021年7月10日(土)13:30~16:00 Web開催

第1部 ワークショップ『働く卒業生からメッセージ』

- 1.森ノ宮医療大学推薦者 病院に就職して 淀川キリスト教病院 谷口 瑠菜
- 2.大阪行岡医療推薦者 治験コーディネーターについて MDVトライアル(株) 川口 知佐子
- 3.関西医療大学推薦者 微生物検査室の果たすべき役割 関西医科大学総合医療センター 山本 幸之
- 4.日本医療推薦者 PCR検査について 医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院 小畑 寿宣
- 5.大阪医療推薦者 仕事と家事と育児をいかに楽しむか? バランスの取り方は? 何かを犠牲にする必要があるのか? 住友病院 津村 京子

第2部 教育講演

『コロナ関連なんでもお答えします。~コロナに挑む臨床検査技師~』

近畿大学奈良病院 増田 詩織

参加人数:363名(会員58名、非会員305名〔学生302名〕)

第14回大臨技教育セミナー

2019年7月13日(土)13:25~16:30 大阪中央公会堂

第1部 ワークショップ『働く卒業生からメッセージ』

- 1.日本医療推薦者 機器サポート企業に勤務 栄研化学株式会社 伊瀬 功視
- 2.関西医療大学推薦者 大学院進学後、企業に勤務 丸大食品株式会社 中山 香奈
- 3.大阪行岡医療推薦者 病院の微生物検査室に勤務 大阪警察病院 有村 泰晃
- 4.大阪医療推薦者 検診センターに勤務 大阪府結核予防会相談診療所 伊藤 裕江

第2部 教育講演

『在宅医療に検査技師は係れるか?』

森ノ宮医療大学 脇 英彦

第3部 特別講演

『がんゲノムの検査』

大阪国際がんセンター 山本 章史

堺市総合医療センター 佐々木 伸也

参加者:304名(会員28名、非会員276名〔学生269名〕)

第13回大臨技教育セミナー

平成30年7月14日(土)14:00~16:30 大阪市立男女共同参画センター(クレオ大阪南館ホール)

第1部 ワークショップ『いろいろな職場(領域)で活躍する先輩が抱負を語る』

- 1.「一つ上を目指して」 関西医療大学大学院 高橋 晃史
- 2.「ゲノム医療と遺伝子検査」 国立循環器病研究センター 太田 直孝
- 3.「ISO15189 を取得した臨床検査部で働く技師として思うこと」 関西医科大学附属病院 杉山 友紀
- 4.「小児病院と検査」 大阪母子医療センター 富松 優太
- 5.「創薬研究の面白さと、臨床検査技師の強み」 塩野義製薬株式会社創薬疾患研究所 南地 勇

第2部 教育講演『AIと臨床検査』

シスメックス株式会社 中央研究所先進医療研究ユニット 高畑 隆之

参加者:348名(会員30名、非会員318名〔学生314名〕)

第12回大臨技教育セミナー

平成29年7月15日(土)14:00~16:30 クレオ大阪中央館ホール

第1部 ワークショップ『いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る』

- 1.「企業に勤務して」 小野薬品工業(株)水無瀬研究所 藤井 宏修
- 2.「飛び出せ!検査室 ~輸血専任技師の取り組み~」 近畿大学医学部附属病院 福島 靖幸
- 3.「生殖補助医療胚培養士として」 英ウイメンズクリニック 中原 恵理
- 4.「Sleep technologist (睡眠技士)として」 関西電力医学研究所 睡眠医学研究部 紀戸 恵介
- 5.「救急現場におけるチーム医療 ~認定救急検査技師の立場から~」 枚方公済病院 藪 圭介

第2部 教育講演

『新社会人のメンタルヘルス *** 自分らしく働くためのセルフコントロール ***』

医療法人福甲会やました甲状腺病院 診療技術部長 猪俣 啓子

参加者:会員23名、学生310名

第11回大臨技教育セミナー

平成 28 年7月9日(土)13:30~16:30 大阪市立男女共同参画センター東部(クレオ大阪東)

第1部 ワークショップ『いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る』

- 1.大阪大学推薦者 「大学病院に勤務する立場から」大阪大学医学部附属病院 高尾 美有紀
- 2.大阪医療推薦者 「企業に勤務する立場から」ロシュ・ダイアグノスティックス(株) 岸 克彦
- 3.日本医療推薦者 「検査センターに勤務する立場から」エスアールエル関西ラボラトリー 細川 美香
- 4.大阪行岡推薦者 「クリニックに勤務する立場から」ベルクリニック 三輪 綾子
- 5.技師会推薦者 「認定技師の立場から」住友病院 岡本 秀雄

第2部 教育講演

『生活習慣を改善し健康的な生活を行うために』

関西医科大学 健康科学教授 木村 穰

参加者:会員23名、学生220名

第10回大臨技教育セミナー

平成 27年7月18日(土)13:30~16:30 大阪歴史博物館4階 講堂

第1部 教育講演

『うま味の科学 ~グルタミン酸の呈味と新しい有用性について~』

味の素(株)大阪支社 営業企画グループ 萱沼 公恵

第2部 ワークショップ『いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る』

- 1.大阪大学推薦者 「企業に勤務する立場から」エーザイ株式会社 河内 翼
- 2.大阪医療推薦者 「内視鏡検査に携わる立場から」大阪警察病院 中村 有希
- 3.日本医療推薦者 「産科領域の病院に勤務する立場から」小阪産病院 下本 知子
- 4.行岡医療推薦者 「CRCの企業に勤務する立場から」(株)イーピーメント 芦田 悠里衣
- 5.大臨技推薦者 「認定一般検査技師に求められるもの」大阪大学医学部附属病院 堀田 真希

参加者:199名

第9回大臨技教育セミナー

平成26年7月19日(土)14:00~17:00 関西医科大学附属滝井病院 本館6階 臨床講堂

第1部 教育講演

『臓器移植と人工臓器 ~心不全への挑戦~』

東宝塚さとう病院 名誉院長 松田 暉

第2部 ワークショップ『いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る』

- 1.大阪大学推薦者 「食品メーカーでの研究開発業務で活躍する立場として」
株式会社明治 研究本部 食機能科学研究所 鈴木 美記子
- 2.大阪医療推薦者 「病院で活躍する生化学と免疫血清検査の担当技師として」
近畿大学医学部附属病院 永井 美友希
- 3.日本医療推薦者 「検診センターで活躍する技師として」
大阪警察病院付属人間ドッククリニック 北垣戸 亜弥
- 4.大阪行岡医療推薦者 「病院で活躍する神経生理検査担当技師として」
神戸市立医療センター 佐々木 一朗

5.技師会推薦者 「検査相談・説明のできる技師育成をめざして」

育和会記念病院 田畑 泰弘

参加者:204名

第8回大臨技教育セミナー

平成25年7月21日(土)14:00~17:00 関西医科大学枚方キャンパス 加多乃講堂

第1部 教育講演

「iPS細胞研究の基礎と応用の今」

京都大学iPS細胞研究所 中川 誠人

第2部 ワークショップ『いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る』

1.大阪大学推薦者 「新薬創出企業のモニターとして」 小野薬品工業株式会社 濱田 眞衣

2.大阪医療推薦者 「病理検査技師として」 大阪医療センター 荒木 幸子

3.日本医療推薦者 「AED認定者として」 枚方公済病院 藪 圭介

4.近畿医療推薦者 「剖検介助者として」 関西医科大学専門部 江川 宏征

5.技師会推薦者 「職場のスペシャリストとして」 星ヶ丘厚生年金病院 稲田 孝

参加者:225名

第7回大臨技教育セミナー

平成24年7月21日(土)14:00~17:00 関西医科大学附属滝井病院 南館2階 臨床講堂

第1部 教育講演『新たな取り組みである患者情報室の果たす役割』

社会医療法人 阪南福祉センター 阪南中央病院 医療安全管理部 北田 淳子

第2部 ワークショップ『いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る』

1.大阪大学推薦者 『企業の一員として』 シスメックス(株) 大西 智子

2.大阪医療推薦者 『検査センターで採用する立場として』 (株)保健科学研究所 永井 宏和

3.日本医療推薦者 『医療を対象にしない職場として』 大阪府監察医事務所 片岡 真弓

4.近畿医療推薦者 『病院に勤務して』 バルナバ病院 宇野 更紗

5.技師会推薦者 『職場のスペシャリストとして』 関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也

参加者:178名

第6回大臨技教育セミナー

平成23年7月16日(土)14:00~17:00 関西医科大学附属滝井病院 本館6階 臨床講堂

第1部 教育講演

『臨床検査とPOCT』

神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科教授 坂本 秀生

第2部 ワークショップ『いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る』

1.大阪大学推薦者 企業の研究者として 塩野義製薬(株) 香川 由美

2.大阪医療推薦者 細胞培養業務 (株)メディネット 大塚 小百合

3.日本医療推薦者 病院に勤務して 足立病院 釜本 早紀

4.近畿医療推薦者 企業の学術業務 (株)シスメックス 身野 健二郎

5.技師会推薦者 職場のスペシャリストとして 大阪医科大学附属病院 大比良 ひとみ

第5回大臨技教育セミナー

平成22年7月17日(土)14:00~17:00 関西医科大学附属滝井病院 南館2階臨床講堂

第1部 ワークショップ『いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る』

- 1.企業の一員として シスメックス株式会社 林 文明
- 2.大規模病院に勤務して 循環器病センター 豊政 圭未
- 3.クリニックの重要な戦力として 仁和会 和田病院 富 恵厘奈
- 4.治験コーディネーター(CRC)として (株)総合臨床サイエンス 辻 真理子
- 5.職場のスペシャリストとして 野崎徳州会病院 小谷 佳織

第2部 教育講演『循環器病と臨床検査』

関西医科大学内科学第二講座主任教授 関西医科大学附属滝井病院院長 岩坂 壽二

第4回大臨技教育セミナー

平成21年7月18日(土)14:00~17:00 関西医科大学附属滝井病院 本館6階臨床講堂

第1部 教育講演

「患者の心理を考える」

大阪国際大学 人間科学部心理コミュニケーション学科 准教授 青野 明子

第2部 ワークショップ「色々な職場で活躍する先輩が抱負を語る」

- 1.大学院に進学して 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期過程 仁木 真理恵
- 2.企業の一員として 三菱化学メディエンス(株) 郷上 政幸
- 3.クリニックの重要な戦力として 医療法人仁和会和田病院 綿谷 誠子
- 4.治験コーディネーター(CRC)として サイトサポート・インスティテュート (株) 山田 真規子
- 5.職場のスペシャリストとして 大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈

第3回大臨技教育セミナー

平成20年7月19日(土)14:00~17:00 関西医科大学附属滝井病院 本館6階臨床講堂

第1部 教育講演

「セネガルに暮らし働き」

青年海外協力隊セネガル OG 山本 綾

第2部 ワークショップ「あなたに伝えたい私の経験」

- 1.試薬メーカーでのモノ作りー楽しさと厳しさー

和光純薬株式会社 秋長 歩

- 2.治験コーディネーター(CRC)って、自分のため、患者様のため

株式会社オーエスエムオープラス 星川 優介

- 3.医療シミュレーション教育専用施設専任管理人のお仕事、腹部超音波講習会

大阪市立大学医学部スキルスシミュレーションセンター 小澤 朋子

- 4.救命救急センターって地獄・極楽？

大阪府三島救命救急センター 濱田 宏輝

- 5.結果でた!、精度!!、QC???, 検査センターで体張ってます

日本医学株式会社 辻内 梨江

第2回大臨技教育セミナー

平成19年7月21日(土)14:00~17:20 JICA 大阪 2階ブリーフィングルーム

第1部 教育講演

『国際協力機構(JICA)の保健分野における協力』

独立行政法人国際協力機構大阪国際センター 日原 一智

第2部 特別講演

『夢を語れる“臨床検査技師”を目指せ!』

大阪医科大学附属病院中央検査部 井口 健

第3部 ワークショップ『医療における臨床検査技師の役割』~各職域で従事して~

関西医科大学枚方病院輸血部 山本 菜美

株式会社オーエスエムオープラス 星川 優介

大阪掖済会病院 砂田 寛恵

フジ・レスピロニクス株式会社南近畿支店睡眠センター 近藤 信利

日本医学臨床検査研究所 文谷 美之

参加者:211名

第1回大臨技教育セミナー

平成18年7月15日(土)14:00~17:00 大阪大学医学部保健学科 第1講義室

第1部 『今、求められる技師とは—いろいろな職場から抱負を語る—』

1.大学病院から 神戸大学医学部附属病院 検査部 生理学部門 森山 雅子

2.企業の研究所から シスメックス(株)中央研究所 研究グループ 大西 智子

3.衛生検査所から (株)エスアールエル・ラボ・クリエイト 尾張 崇文

4.専門クリニックから 京谷クリニック 向井 美沙子

5.検診専門企業から 大阪予防医学協会 健診部 北川 聖司

6.動物臨床検査企業から (株)モノリス 大阪ラボ 石谷 妥歌子

7.中規模一般病院から 茨木医誠会病院 臨床検査科 佐々木 誠吾

第2部 『学術部から—最近のトピックス—』

1.生理機能検査部門から 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 藤岡 一也

2.一般検査部門から 市立吹田市民病院 中央検査部 佐々木 正義

3.微生物検査部門から 阪大微生物病研究会 臨床検査部 坂本 雅子

4.チーム医療部門から 若草第一病院 臨床検査課 神農 和枝

参加者:250名

教育機関との連携(教育機関懇談会・大臨技登録学生)

総務・庶務部 井戸田 篤

臨床検査技師養成教育機関(大学、専門学校など)との連携を強化し、大阪府臨床検査技師会の活動を理解していただく目的にて、下記の活動を行っています。

1. 年1回(3月)の臨床検査教育機関懇談会(教育施設懇談会)の開催
2. 大臨技登録学生(OEMS)制度の設置、大臨技登録学生カードの発行
(登録学生には卒業後1年間に限り研修会への参加特典を設定)
3. 大臨技ニュースへの投稿依頼(臨床検査技師教育機関からの声)
4. 大臨技ニュースの送付(2022年度よりWeb版のみ)
5. 入会案内書の送付
6. 入学式および卒業式への出席
7. 各学校長より推薦された学生に対し、「大臨技会長賞」を授与(平成20年度から)

大臨技会長賞受賞者

()カッコ内は受賞日

【平成20年】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
山下 理佐(平成21年3月3日)
近畿医療技術専門学校 臨床検査科
栗本 麗子(平成21年3月7日)
大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
西垣 美友希(平成21年3月16日)

【平成21年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
山本 千恵子(平成22年3月9日)
近畿医療技術専門学校 臨床検査科
出口 真弓(平成22年3月13日)
大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
仲野 有加(平成22年3月17日)

【平成22年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
宇都宮 加奈(平成23年3月1日)
近畿医療技術専門学校 臨床検査科
奥村 厚司(平成23年3月12日)
大阪医療技術学園専門学校

臨床検査技師科 倉光 可奈 (平成 23 年 3 月 17 日)

【平成 23 年度】

日本医療学院専門学校

臨床検査技師学科 吉田 智子 (平成 24 年 3 月 6 日)

近畿医療技術専門学校 臨床検査科

金海 仁在 (平成 24 年 3 月 10 日)

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科

鳥井 麻梨 (平成 24 年 3 月 12 日)

【平成 24 年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科

瓜原 浩代 (平成 25 年 3 月 5 日)

近畿医療技術専門学校 臨床検査科

小嶋 泰史 (平成 25 年 3 月 9 日)

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科

中田 有香 (平成 25 年 3 月 13 日)

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科

川北 彩夏 (平成 25 年 3 月 13 日)

【平成 25 年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科

飯田 健斗 (平成 26 年 3 月 4 日)

大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科

矢戸 絵梨香 (平成 25 年 3 月 8 日)

大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科

佐藤 久美 (平成 25 年 3 月 8 日)

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科

廣瀬 大輔 (平成 25 年 3 月 12 日)

【平成 26 年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科

脇田 翼 (平成 27 年 3 月 3 日)

大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科

宮田 嵩也 (平成 27 年 3 月 7 日)

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科

荒井 鴻飛 (平成 27 年 3 月 11 日)

【平成 27 年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科

稲本 悦子 (平成 28 年 3 月 8 日)
大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
中野 絵里香 (平成 28 年 3 月 9 日)
大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科
増田 泰三 (平成 28 年 3 月 12 日)

【平成 28 年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
入江 由果 (平成 29 年 2 月 28 日)
大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
古川 智也 (平成 29 年 3 月 8 日)
関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
藤井 菜々美 (平成 29 年 3 月 10 日)
大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科
米田 まどか (平成 29 年 3 月 11 日)

【平成 29 年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
西 千夏 (平成 30 年 3 月 6 日)
関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
田外 大輝 (平成 30 年 3 月 9 日)
大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科
藤岡 梨香 (平成 30 年 3 月 10 日)
大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
今井 伸弥 (平成 30 年 3 月 12 日)

【平成 30 年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
松井 千紘 (平成 31 年 3 月 5 日)
関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
野間 大貴 (平成 31 年 3 月 8 日)
大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科
志岐 玲香 (平成 31 年 3 月 9 日)
大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
八木 綾菜 (平成 31 年 3 月 11 日)

【令和元年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
由良 優花 (令和 2 年 3 月 3 日)
大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科

工藤 愛子(令和2年3月7日)
大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
中井 亜企(令和2年3月12日)
森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
古森 円香(令和2年3月12日)
関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
粉川谷 立樹(令和2年3月13日)

【令和2年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
中村 葵(令和2年3月9日)
大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
北口 晶子(令和3年3月11日)
関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
川口 晏奈(令和3年3月11日)
大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科
山村 佳子(令和3年3月13日)
森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
平松 渉(令和3年3月18日)

【令和3年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
松本 奈緒(令和4年3月8日)
大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
福居 琢磨(令和4年3月10日)
関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
佐々木 里紗(令和4年3月11日)
大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科
長尾 紗希(令和4年3月12日)
森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
早田 梨菜(令和4年3月18日)

【令和4年度】

日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科
平田 京介(令和5年3月7日)
大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科
尾崎 龍之介(令和5年3月9日)
関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
田中 希穂(令和5年3月10日)
大阪行岡医療専門学校長柄校 臨床検査科

石井 美帆 (令和 5 年 3 月 11 日)

森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

森川 りの (令和 5 年 3 月 16 日)

検査説明・相談ができる臨床検査技師養成講習会

組織部 谷川 崇

平成19年12月28日付厚生労働省医政局長通知において、医師等ではなくても対応可能な業務例が整理された。この中では採血、検査についての説明については医師及び看護職員のみで行っている実態があり、臨床検査技師との適切な業務分担を導入することで、医師等の負担を軽減することができると思われる。

現在、採血については検査技師が行っている施設は多いが、検査説明についてはほとんど着手されておらず、平成25年度において各都道府県技師会から各1名の企画担当者が選任され、日臨技にて「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会」が開催された。それを受けて、平成26年度から28年度の3年間、各都道府県での検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会を開催、大臨技でも、各方面より講師の先生をお招きして講習会を開催した。

講義内容は、検査説明に取り組む意義、期待するもの(病院管理者の立場から)、看護師の患者接遇、患者心理、接遇の基本<ロールプレイ>、検査説明の実際、R-CPC、検査説明の模擬演習等で、28年度は、実際にこの講義を受けられて検査説明を始められた施設の方に、「検査説明始めました」と題し、講演していただいた。

今後、医師や看護師、他のコメディカルなどとの協力体制を築き、臨床検査技師がチーム医療の中で、活躍できるための礎となる講習会であったと思われる。

受講者: 平成26年48名、平成27年64名、平成28年63名、合計175名

後援: 厚生労働省

公益社団法人 日本医師会公益社団法人 日本看護協会

一般社団法人 日本病院会公益社団法人 全日本病院協会

公益社団法人 全国自治体病院協議会一般社団法人 日本臨床検査医学会チーム医療推進協議会

大阪府一般社団法人 大阪府医師会

公益社団法人 大阪府看護協会一般社団法人 大阪府病院協会

この講習会は3年間の継続事業であったが、大臨技では、この研修が今後の臨床検査技師業務にとって有益であると考え3年間の研修終了後も事業継続し、コミュニケーションについての講習や R-CPC・検査説明模擬演習等を実施した。

受講者:平成29年(2017年)40名、平成30年(2018年)25名、令和元年(2019年)33名、
令和3年(2021年)28名

※令和2年度はコロナ感染拡散防止のためやむなく事業を中止し、令和3年度は Web 開催した。

全国検査と健康展 in 大阪

渉外部 清水 隆之

全国検査と健康展は「臨床検査の正しい知識と普及・啓発を行い国民の健康づくりの意識の高揚を図る」という目的で、2013年から日臨技と共催している事業です。臨床検査の体験や、臨床検査に関するパネル展示等を開催内容として実施しています。特に2016年から2019年までは、より多くの府民に参加してもらう目的で、MBS ラジオ秋祭りが開催されている長居公園自由広場で開催しました。内容として①臨床検査展示・検査相談コーナー、②臨床検査体験コーナー(非侵襲的ヘモグロビン測定、AGE(細胞年齢)測定、物忘れチェック)、③ラジオ局イベント特設ステージにて臨床検査技師の紹介等を実施し、受付総数約400名の府民に参加していただくことができました。

2018年、2019年の健康展の様子

①臨床検査展示・検査相談コーナー



②臨床検査体験コーナー(非侵襲的ヘモグロビン測定、AGE(細胞年齢)測定、物忘れチェック(左))



③ラジオ局イベント特設ステージ



しかし、2020年からの新型コロナウイルス感染症拡大のため、多くの府民が参加する集客的な健康展が開催できなくなり、2020年からは健康展の開催型式が大きく変化することになりました。以降について、新たな形式で開催した2020年度の健康展について紹介させていただきます。

“2020年度全国検査と健康展”は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の集客的な健康展形式を変更して、大臨技ホームページから配信するWeb形式やラジオ放送を利用してバーチャル健康展を開催しました。内容はWeb形式①臨床検査技師業務紹介として、病院で働く臨床検査技師、治験コーディネーターや行政解剖に従事する臨床検査技師や臨床検査技師養成校の紹介。②健康チェック体験として、物忘れプログラム、AGE測定、頸部エコー検査などの紹介。③臨床検査技師からのメッセージでは、献血推進活動や新型コロナウイルス検査の紹介を配信しました。ラジオ開催では、新型コロナウイルス検査への関わりをアナウンサーと高田会長、担当技師との対談や研修会の内容をラジオで放送し、放送終了後には大臨技ホームページからも配信を行いました。

【Web開催:大臨技ホームページ】

① 臨床検査技師業務紹介

・臨床検査技師の仕事 ・顕微鏡で見たミクロの世界 ・臨床検査技師養成校紹介
(病理学的検査、微生物学的検査、生理検査、検体検査、治験コーディネーター、大阪府監察医事務所)

② 健康チェック体験

・認知症について(物忘れプログラム) ・AGE測定 ・頸部エコー検査

③ 臨床検査技師からのメッセージ

・2020年度夏季献血推進活動 ・「新型コロナウイルス検査は何故すぐにできないの？」

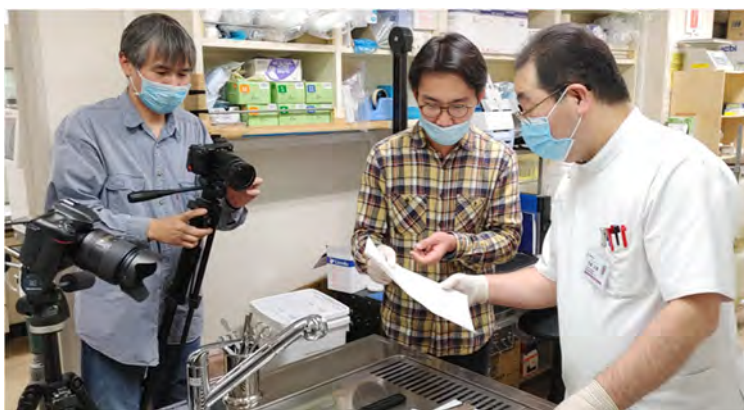
【ラジオ開催:MBSラジオ】

・2021年2月14日(日)20時~21時(放送後、大臨技ホームページから配信)

・サンデーカルチャーナイト「新型コロナウイルス感染症に立ち向かう」

Web配信の動画制作については、専門業者に依頼する予算はなく、渉外部委員や担当検査部門委員の

手持ちのデジカメやスマホを使用して動画や静止画を撮影し編集を行いました。何度も再撮影、再編集を繰り返してようやく完成に漕ぎ着け、満足感と視聴してもらえない不安感との複雑な気持ちでの Web 配信でした。さらに、従来の健康展に参加していただいていた年配の方々や Web 環境が整っていない府民の方々にも、幅広く視聴してもらう目的でラジオ放送も行い、府民や会員に対して臨床検査技師の業務や取り組みを紹介することができました。(府民の方から良かったという意見をいただきました。)新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況において、“何も開催できない”ではなく“何かできる、何か考える”。皆で知恵を出し合った結果、開催することができました。今回、我々が行った方法は、府民や会員に対して、更に全国的にも技師会活動紹介の新しい方法の一つになっていくと思われました。今後の全国検査と健康展に向けて、幅広く意見を取り入れながら時代に合った形で開催していければと思っています。



撮影風景(病理)



Web 画面

がんフォーラム

渉外部 岡本 秀雄

がんフォーラムは、我が国における死亡原因第一位の「がん」について知識を習得していただくとともに、がん検診の重要性の啓蒙を目的として2010(平成22)年より開催しています。開催当初は、日本臨床衛生検査技師会の公益委託事業として始まりましたが、現在では当会単独事業として開催しています。2019年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止になりましたが、2020年度および2021年度はコロナ禍のため Web 配信による開催とし、通算第11回目を迎えました。

臨床検査技師にはテーマとするがんの臨床検査について、専門医師には診断および治療についてご講演いただく方向性は変わりませんが、第8回および第9回のフォーラムでは、臨床心理士の方にご登壇いただき、がん患者の「こころ」の変化について参加者と一緒に考えました。直近では、大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課課長様に大阪府のがん検診の現状、がん検診の重要性についてのご講演、また、最近話題のがんゲノム医療についてのご講演をいただき、様々な角度から「がん」について情報発信を行っています。

がん検診受診率が依然低い大阪府において行政と当会の連携を深め、府民の皆さんにがん検診の重要性や「がん」に関する情報をわかりやすくお届けし、がん検診受診率の向上、がん死亡の減少に少しでも寄与できればと考えておりますので、引き続きご協力の程、お願いいたします。

第11回 大臨技がんフォーラム

テーマ:がんゲノム医療にせまる!

期間:2022年1月19日(水)~2022年2月2日(水) Web 配信

司会:伊東 正治(フリーアナウンサー)

【講演Ⅰ】

「大阪府におけるがん検診の現状」

大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課 課長 勝見 友一

【講演Ⅱ】

『知っていますか?「がんゲノム検査」』

堺市立総合医療センター 臨床検査科 副技師長 佐々木 伸也

【講演Ⅲ】

「肺がんとゲノム医療」

大阪急性期・総合医療センター 呼吸器内科 副部長 内田 純二

第10回 大臨技がんフォーラム 2021

テーマ:がんゲノム医療にせまる!

2021年3月13日(土)~2021年3月31日(水) Web 配信

司会:伊東 正治(フリーアナウンサー)

【講演Ⅰ】

「大阪府におけるがん検診の現状」

大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課 課長 中谷 健志

【講演Ⅱ】

「知っていますか？『がんゲノム検査』」

慶應義塾大学病院 臨床検査科 ゲノム検査室 柳田 絵美衣

【講演Ⅲ】

「乳がんとゲノム医療」

大阪国際がんセンター 副院長 玉木 康博

【講演Ⅳ】

「がん発症から14年 ～カラダとココロの変遷記～」

豊島 美雪 (フリーアナウンサー)

*フォーラムは、2021年3月28日(日)20:00～ MBS ラジオ「サンデーカルチャーナイト」で放送した。

第10回 大臨技がんフォーラム 2020

テーマ:がんゲノム医療にせまる！

*新型コロナウイルスの感染拡大のため中止

第9回 がん検診フォーラム 2019

テーマ:知ろう！学ぼう！考えよう！乳がんのこと あなたのために、あなたの大切な人のために

2019(平成31)年3月9日(土) 会場:MBS 本社1階 ちゃやまちプラザ

司会:伊東 正治(元毎日放送アナウンサー)

【教育講演】

「がん検診における臨床検査技師の関わり」

関西医療大学 保健医療学部 教授 矢野 恵子

【特別講演】

「乳がんの診断と治療 –がんゲノム医療時代を迎えて–」

講師:大阪国際がんセンター 副院長 玉木 康博

【特別ゲスト】

「私の乳がんとの付き合い方」

講師:豊島 美雪 (フリーアナウンサー)

パネルディスカッション (講師 3 名に臨床心理士が加わります)

臨床心理士:流通科学大学 人間社会学部長 岩崎 久志

*フォーラムは、2019年3月24日(日)20:00～ MBS ラジオ「サンデーカルチャーナイト」で放送した。

第8回 がん検診フォーラム 2018

テーマ:知ろう！学ぼう！考えよう！乳がん あなたのために、あなたの大切な人のために

2018(平成30)年3月17日(土) 阪急うめだホール

司会:伊東 正治(元毎日放送アナウンサー)

【教育講演】

「乳がん検診における乳房超音波検査の役割 ～年に1回、受けて安心、乳房エコー！～」

住友病院 田上 展子

【特別講演】

「乳癌の診断と治療 - 今、これから -」
大阪国際がんセンター 副院長 玉木 康博

【特別ゲスト】

「乳がん ～ 4度の手術を乗り越えて ～ 元気な心の作り方」

豊島 美雪 (フリーアナウンサー)

パネルディスカッション (講師3名に臨床心理士が加わります)

臨床心理士:流通科学大学 人間社会学部長 岩崎 久志

HIV 予防啓発講演会

渉外部 喜舎場 智之

2011(平成 23)年度に本邦における HIV 感染者・AIDS 患者の増加、ならびに大阪府が全国において第 2 位の感染者数である現状を受け、当会による青少年向けの HIV 予防啓発活動が始まりました。この活動は、講演会形式で行なわれ、これまでに「HIV 感染症の現状や予防」、「HIV 感染症の検査と治療」、「大阪府の市街での HIV 予防啓発活動と無料検査の案内」、「ちゃんと抑えられます、HIV 感染症。大切な人のためにも」という内容を大阪府健康医療部の保健師、行政のウイルス研究所研究員、日本病院薬剤師会 HIV 感染症専門薬剤師など、HIV 感染症における各部門の専門家にご講演いただきました。

本講演会は大阪府内の臨床検査技師養成学校教育施設を回り、学生その他、当会会員、大阪府民の皆さまにも参加していただき、昨年度までに通算 11 回の講演会を開催しました。

今年度(2022年度)より本講演会は疾患の対象を広げ、「大臨技疾患予防セミナー」としてリニューアルし、HIV のみならず様々な疾患の予防啓発を目的に事業展開してまいります。今後ともご協力の程、よろしく願いいたします。

年輪Ⅶでは、2017(平成 29)年度から 2021(令和 3)年度に行われ5回の事業を報告いたします。

2021 年度

2022(令和4)年 2 月 14 日(月)～2 月 28 日(月) 大臨技事務所収録 Web 配信

「HIV 感染症/AIDS を正しく知ろう ～大切な人のためにも～

講師:京都第一赤十字病院 薬剤部 富島 公介

参加人数:Web 視聴回数のべ 53 回

2020 年度

2021(令和3)年1月16日(土)～1月29日(金) 大臨技事務所収録 Web 配信

「ちゃんと抑えられます、HIV 感染症。大切な人のためにも」

講師:京都第一赤十字病院 薬剤部 富島 公介

参加人数:会員参加17名、Web 視聴回数のべ 86 回

2019年度

2019 (令和元)年11月9日(土)14:00～16:30 日本医療学院専門学校

1.「大阪府の市街での HIV 予防啓発活動と無料検査の案内」

大阪府健康医療部 保健医療室医療対策課感染症グループ 新海 のり子(保健師)

2.「ちゃんと抑えられます、HIV 感染症。大切な人のためにも」

京都第一赤十字病院 薬剤部 富島 公介(日本病院薬剤師会 HIV 感染症専門薬剤師)

参加人数:45名(会員18名、学生25名、府民2名)

2018 年度

2019(平成31)年2月2日(土)14:00～16:00 大阪行岡医療専門学校長柄校

1.「大阪府の市街での HIV 予防啓発活動と無料検査の案内」

大阪府健康医療部 保健医療室医療対策課感染症グループ 新海 のり子(保健師)

2.「ちゃんと抑えられます、HIV 感染症。大切な人のためにも」

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部 富島 公介(薬剤師)

参加人数:58名(会員20名、学生37名、府民1名)

2017 年度

2017(平成29)年11月18日(土)15:00~17:00 大阪医療技術学園専門学校

1.「HIV 感染症の現状や予防」

大阪府健康医療部 保健医療室医療対策課 感染症グループ 桧山 智香子(保健師)

2.「HIV 感染症の検査と治療」

講師:地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 微生物部 ウイルス課 森 治代(主任研究員)

参加人数:100名(会員13名、学生82名、一般5名)

看護フェスタおおさか

渉外部 川井 和久

1990年に旧厚生省が近代看護の母ナイチンゲールの誕生日(5月12日)を「看護の日」に制定しました。その週を看護週間としては「看護の日～ハートフル大阪21～」としてイベントが開催されます。

当会も「看護の日～ハートフル大阪21～」の実行委員会の構成団体として当会も参加しています。府民の方に向けた健康啓発・臨床検査の広報の一環として、検査コーナーを設けて、頸動脈エコー・非侵襲ヘモグロビン測定・物忘れチェックの検査を受けていただきました。

コロナ禍になり、参加型のイベントの多くが中止になりましたが、2021年は開催形式を変更して、動画や展示を活用し一か月間、開催されるようになりました。当会では、「臨床検査技師ってご存知ですか？」の題名の動画を作成し来場された方、Web等で多くの方に見ていただきました。2022年は、パネル展示で参加しました。

今後も実行委員会の一員として、「看護の日」のイベントに参加し、府民の皆様の健康に寄与していきたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

看護フェスタおおさか 2022

令和4年5月14日(土) 12:00～15:00 大阪公立大学看護学部看護学舎
(来場者数 245名)

看護フェスタおおさか 2021

令和3年6月30日(水)～7月30日(金) ナレッジキャピタル ザ・ラボ(グランフロント大阪 北館2階)
(来場者数 1,748名)

看護フェスタおおさか 2020

新型コロナウイルス感染症のため中止

看護フェスタおおさか 2019

令和元年5月13日(土)11:30～16:00 ナーシングアート大阪
(検査者数 頸動脈エコー 235名 非侵襲ヘモグロビン測定 235名 物忘れチェック 54名)

看護フェスタおおさか 2018

平成30年5月12日(土)11:30～16:00 ナーシングアート大阪
(検査者数 頸動脈エコー 214名 非侵襲ヘモグロビン測定 310名)

看護フェスタおおさか 2017

平成29年5月13日(土)11:30～16:00 ナーシングアート大阪
(検査者数 頸動脈エコー 232名 非侵襲ヘモグロビン測定 253名)

手話講演会

渉外部 赤木 征宏

平成7年の『手話講習会』を皮切りに、翌年より『手話講演会』と題して年一回、「障がい者への理解と協力」そして「患者さんにやさしい病院づくり」を目的として、大阪府下のさまざまな会場で講演会を開催してきた。

平成20年からは保健師であり心理カウンセラーでもある徳永京子氏を講師として招き、平成 22 年にはその会場を臨床検査技師の専門学校に移すことで、会員・府民だけでなく今後の医療界を担う若い世代とともに、手話を通して言葉と気持ちを伝える方法を学び考えてきた。

徳永先生のご講演は受講者に「手話を教える」ということに特化したものではなく、「伝える」そして「伝わる」ということをとても大切にしましたもので、我々の講演会の目的とも即しており、J-POP の歌詞に手話表現を盛り込みサインダンスとして踊る様は、何よりもそれを色濃く現したもので、会場はいつも温かく笑顔が絶えないものであった。

令和2年に入りコロナ・パンデミックの影響で多くの事業が開催中止となる中、手話講演会は会場での対面開催から Web での動画視聴へと開催方法を変更した。手話特有の動きに表情とともに注がれる感情表情、コミュニケーションの一つである手話の講演会を対面開催できないデメリットが懸念されたが、徳永先生は表現するときのコツや注意、病院での工夫などを多数の動画内に盛り込み、それらを気軽に見られる時間内に収めたことで、受講者達からはとても好評なものとなった。翌年には更に場面別の会話編を増やしていただき、これらは DVD に収め開会場予定であった専門学校にも送付した。

先の2年間の Web 開催で「手話を覚えたい」「繰り返し見られたので良かった」「真似してみただけど合っているのかが不安」などの声もあり、令和4年は人数を制限して初心者・初級者向けの全6回コースの手話講習会を大臨技事務所で開催した。久しぶりの手話講習会で、講師も担当者も手探り状態での開催であったが、今後も会員や府民の声の応えられるように、この事業を継続していきたいと考えている。

開催年度	開催日・開催期間	開催場所・開催形式	参加者・視聴回数
平成29年度	2018年 2月3日	大阪医療技術学園専門学校	120名
平成30年度	2018年 10月13日	大阪行岡医療専門学校長柄校	63名
令和1年度	2019年 9月21日	日本医療学院専門学校	82名
令和2年度	2021年 1月16日～ 1月29日	YouTubeでの動画配信・学校への DVD配布	延べ80回
令和3年度	2022年 2月14日～ 2月28日	YouTubeでの動画配信・学校への DVD配布	延べ110回
令和4年度	2022年 10月～12月	大臨技事務所(全6回コース)	14名

認知症対応力向上研修会

組織部 上田 一仁

本研修会は、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会(日臨技)からの指示を受け、今後増加が懸念される認知症患者への対応力を向上させるための事業として 2017 年度より大臨技でも取り組むこととなりました。当初、「認知症対応力向上講習会 B」として、日臨技主催の「認知症対応力向上講習会 A」に参加された、認定認知症領域検査技師が中心となり事業を展開してきました。その後、2019 年度からは、講習会の名称を「認知症対応力向上研修会」として大臨技の独自事業として、認定認知症領域検査技師を目指す方々や認定更新を目的とする方々に向け認定単位(10 単位もしくは 5 単位)を取得できる形式で実施してきました。実技研修が主体となるため、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、この 2 年間は研修会の開催を見送ってきましたが、今後は会員の皆様のニーズに応えられるよう再開を検討しております。

2020 年度 認知症対応力向上オンライン研修会(5 単位)

2021 年 3 月 6 日(日) (公社)大阪府臨床検査技師会事務所(LIVE 配信)

「認知症」基礎講座

大阪府済生会中津病院 大井 茂昭

【特別講義】認知症対応に活かすアンガーマネジメント

日本アンガーマネジメント協会 下垣内 信子

神経心理学的検査総論(MMSE・HDS・ADAS・TDAS)

大阪医科大学附属病院 麻野 秀一

神経心理学的検査実習(MMSE・HDS・ADAS)

いわた脳神経外科クリニック 是枝 真由美

大阪府済生会中津病院 大井 茂昭

博悠会 名取病院 北林 祥代

MRI と症例

いわた脳神経外科クリニック 是枝 真由美

LIVE 配信は 2021 年 3 月 6 日(日)に実施。

オンデマンド配信は 2021 年 3 月 13 日(土)～21 日(日) ※ただし、特別講義は LIVE 配信のみ

参加者数:77 名

2019 年度 認知症対応力向上研修会(10 単位)

2019 年 8 月 25 日(日) (公社)大阪府臨床検査技師会事務所

【特別講義】認知症サポーター研修

アイ&ピース株式会社 今堀 富美代

「認知症」基礎講座

大阪府済生会中津病院 大井 茂昭

神経心理学的検査総論(MMSE・HDS・ADAS・TDAS)

森内クリニック 是枝 真由美

神経心理学的検査実習(MMSE・HDS・ADAS)

森内クリニック 是枝 真由美

大阪府済生会中津病院 大井 茂昭

厚生会第一病院 北林 祥代

大阪医科大学附属病院 麻野 秀一

【特別講義】「認知症」診断における画像検査基礎

りんくう総合医療センター 池本 達彦

参加者数: 20 名

2018 年度第 2 回 認知症対応力向上講習会 B(10 単位)

2018 年 10 月 21 日(日) 大阪府済生会中津病院南棟 2 階講堂

神経心理学的検査総論※

～認知症疾患医療センター、物忘れ外来、認知症スクリーニングで主に活用される検査～

国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長 櫻井 孝

MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査総論・実習※

鳥取大学医学部 教授 日本認知症予防学会理事長 浦上 克哉

TDAS 検査総論・実習※

鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座助教 河月 稔

ADAS 検査総論・実習※

鳥取大学医学部附属病院神経内科 鳥取県基幹型認知症疾患医療センター臨床心理士

浜田 実央

その他の簡易スクリーニング検査総論 ～道路交通法改正もふまえて～(体験実習)※

NPO 高齢者安全運転支援研究会 中村 拓司

※総論は Video 視聴、実習は認定認知症領域検査技師が実技指導

参加者数: 22 名

2018 年度第 1 回 認知症対応力向上講習会 B(10 単位)

2018 年 8 月 19 日(日) (公社)大阪府臨床検査技師会事務所

神経心理学的検査総論※

～認知症疾患医療センター、物忘れ外来、認知症スクリーニングで主に活用される検査～

国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長 櫻井 孝

MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査総論・実習※

鳥取大学医学部 教授 日本認知症予防学会理事長 浦上 克哉

TDAS 検査総論・実習※

鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座助教 河月 稔

ADAS 検査総論・実習※

鳥取大学医学部附属病院神経内科 鳥取県基幹型認知症疾患医療センター臨床心理士 浜田 実央

その他の簡易スクリーニング検査総論 ～道路交通法改正もふまえて～(体験実習)※

NPO 高齢者安全運転支援研究会 中村 拓司

※総論は Video 視聴、実習は認定認知症領域検査技師が実技指導

参加者数: 18 名

2017 年度第 2 回 認知症対応力向上講習会 B(10 単位)

2018 年 1 月 13 日(土)～1 月 14 日(日) 大阪府済生会中津病院南棟 2 階講堂

【特別講義】認知症サポーター研修

アイ&ピース株式会社 常務取締役 谷 麻子

神経心理学的検査総論※

～認知症疾患医療センター、物忘れ外来、認知症スクリーニングで主に活用される検査～

国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長 櫻井 孝

MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査総論・実習※

鳥取大学医学部 教授 日本認知症予防学会理事長 浦上 克哉

ADAS 検査総論・実習※

鳥取大学医学部附属病院神経内科 鳥取県基幹型認知症疾患医療センター臨床心理士 浜田 実央

【特別講義】認知症と臨床検査・認知症領域検査技師へのステップアップ

日本認知症予防学会 市村 輝義

TDAS 検査総論・実習※

鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座助教 河月 稔

その他の簡易スクリーニング検査総論 ～道路交通法改正もふまえて～(体験実習)※

NPO 高齢者安全運転支援研究会 中村 拓司

※総論は Video 視聴、実習は認定認知症領域検査技師が実技指導

参加者数:30 名

2017 年度第 1 回 認知症対応力向上講習会 B(10 単位)

2017 年 9 月 10 日(日) (公社)大阪府臨床検査技師会事務所

神経心理学的検査総論※

～認知症疾患医療センター、物忘れ外来、認知症スクリーニングで主に活用される検査～

国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長 櫻井 孝

MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査総論・実習※

鳥取大学医学部 教授 日本認知症予防学会理事長 浦上 克哉

TDAS 検査総論・実習※

鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座助教 河月 稔

ADAS 検査総論・実習※

鳥取大学医学部附属病院神経内科 鳥取県基幹型認知症疾患医療センター臨床心理士 浜田 実央

その他の簡易スクリーニング検査総論 ～道路交通法改正もふまえて～(体験実習)※

NPO 高齢者安全運転支援研究会 中村 拓司

※総論は Video 視聴、実習は認定認知症領域検査技師が実技指導

参加者数:18 名

ベッドサイド実践講習会

組織部 谷川 崇

『多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会(のちのベッドサイド実践講習会)』は、「検査説明相談ができる臨床検査技師育成事業」の継承事業として企画された。

この講習会開催の背景として、チーム医療推進の観点から臨床検査技師には検査室から外来や病棟へ、病院から在宅へと、より患者の身近での検査業務が求められている。この講習会は、臨床検査技師が他職種の業務を知り、多職種連携のチーム医療に積極的に参画することで、医療の質向上に貢献することを目的としている。

2017 年度、日臨技は「医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会(他職種業務を知る)企画担当者研修会」を開催し、各都道府県技師会より専任された企画担当者 1 名が参加した。2018 年度、研修を受けた企画担当者により各都道府県において開催が始まった。講習会は座学と実技で学ぶスタイルで構成され内容は以下の通りで、それぞれの講義を各専門職に担当いただいた。

【座学】看護職から見た患者心理と家族とのコミュニケーション

【実技】看護職から見た患者心理と家族とのコミュニケーション

【座学】知っておくべき患者移送技術

【実技】知っておくべき患者移送技術

【座学】知っておくべきベッドサイド機器管理

【実技】知っておくべきベッドサイド機器管理

【座学】知っておくべき薬理

当会では、2018 年度ベルランド看護助産専門学校で開催し 21 名の参加があり、2019 年度は住友病院で開催し 22 名の参加があった。この講習会開催により、受講者が他職種業務の理解を深めることで、この講習会開催の目的である医療の質向上へ一歩近づけたと思われる。

後援

厚生労働省、一般社団法人日本病院会、公益社団法人全日本病院協会、チーム医療推進協議会、公益社団法人全国自治体病院協議会、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本看護協会、一般社団法人日本病院薬剤師会、公益社団法人日本臨床工学技士会、公益社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本作業療法士協会

大阪府

公益社団法人 大阪府看護協会、一般社団法人 大阪府薬剤師会、公益社団法人 大阪府理学療法士会、一般社団法人 大阪府臨床工学技士会

核酸増幅検査(PCR等)実技研修会

前会長 高田 厚昭

2019年12月に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の日本国内での感染増加に対応すべく検査体制を充実するため都道府県を通じて核酸増幅検査(PCR検査等)の実技研修会開催の要請があり当会(大阪府臨床検査技師会)も大阪府と協力し2020年度より年6回研修会を開催しました。

研修会の概要については、日本臨床衛生検査技師会のe-ラーニングによる座学を修了した者が対象で実技研修会は座学と実技の2部制で行い下記の内容で実施しました。

- 研修内容**
- 1)感染症対策について
 - 2)核酸増幅検査(PCR法、LAMP法)の原理について
 - 3)実技研修

座学については、感染症対策は学術部微生物部門、核酸増幅検査の原理は学術部遺伝子部門が担当しました。座学に関しては内容に差が出ないように統一した資料を各部門担当者が作成し複数の講師が担当しました。実技に関しては試薬の調整から実施に検体を測定し結果判定まで行いました。実習を進めるにあたり微生物・遺伝子部門の各委員が実技助手としてサポートしました。途中で試薬メーカー担当者から試薬に関するレクチャーや実技担当講師による手技についての注意点、ピットホールについて説明され最後に結果の解説がされた。大阪府からは感染対策課の担当者の実習監査がありました。すべての研修を修了した参加者には大阪府知事名での終了証が発行されました。2021年度の研修会では門戸を他職種の方にも開放いたしました。

新型コロナウイルス感染症の感染蔓延状況下での開催であり感染防止策を講じて開催しましたが講師や参加者の中には施設のクラスター対策等で参加が叶わなかった方もおられましたが2020年度は102名2021年度は56名の参加者がありました。

最後にこの研修会の開催に当たり甚大なる支援をいただきました東洋紡株式会社、サーモフィッシャーサイエンス株式会社、栄研化学株式会社、極東製薬工業株式会社に深謝いたします。

タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

組織部 谷川 崇

2021年5月、臨床検査技師等に関する法律の一部を改正する政令等が公布された。その改正に基づき、日本臨床衛生検査技師会(日臨技)では新たに追加された10行為に対し、『タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会』として、各都道府県単位で開催することになった。同8月、日臨技はこの講習会の全国展開に先立ち各支部ごとに選出された実務担当者に対し講習会を実施、同年10月には近畿支部で実務委員に対する講習会を実施した。

この研修は、日臨技 Web 研修システムによる基礎講習と都道府県で開催される実技講習で構成され、基礎講習履修者が実技講習を申し込むことができる。基礎講習は8コンテンツ700分で構成されコンテンツ終了ごとに確認試験がある。実技講習は360分で動画視聴と実技講習で構成されている。

当会は、2021年12月に森ノ宮医療大学を会場に第一回講習会を実施した。2021年度は12月に第一回を開始し2月末までに5回実施の予定であったが、コロナ感染拡大に伴いやむなく2回の開催を中止とした。2022年度は4月から毎月開催を計画したが感染拡大の蔓延により4月5月6月の開催は中止とした。現在、受講前の検温実施、手指消毒薬の設置など感染対策を徹底し7月から毎月開催している。受講申込みを開始すると申込み当日中に満員になり、当会会員のこの講習会への参加意欲の高さが伺える。実際の講習会でも実技が始まるとテキパキと積極的に動く受講者の姿を見た。

多くの会員がこの講習会を受講し医師の働き方改革への貢献のみならず、国民に対し良質な医療を提供できるよう願う。

開催状況と受講者数

2021年	
12月5日	59名
12月19日	56名
1月23日	51名
1月30日	開催中止
2月27日	開催中止

2022年	
4月17日	開催中止
5月29日	開催中止
6月26日	開催中止
7月31日	56名
8月28日	57名
9月11日	59名
10月23日	60名
11月20日	
12月18日	開催中止
1月29日	
2月19日	

臨床検査スタートセミナー

学術部 増田 詩織

本学会は運営を全て若い技師に委ね、「次世代の技師による次世代の学会」をコンセプトとして2017年2月春の新規採用あるいは部署異動などによって4月から新しい業務を担当する方を対象に、これから始める臨床検査業務への心構え・基礎知識・基本技術・医療安全・感染制御などを学んでいただくセミナーを、2019年4月から始めました。

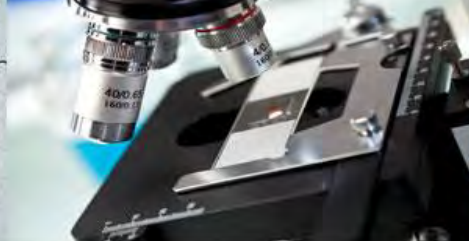
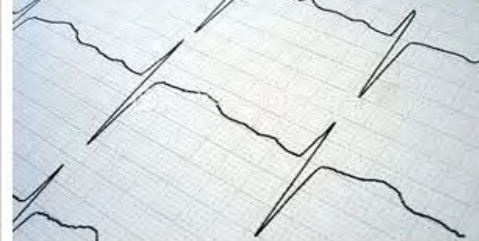
第1回目のセミナーの最初の講演は、日本臨床衛生検査技師会会長の宮島喜文先生(元参議院議員)に「臨床検査技師を取り巻く社会とその未来のために」という題で、太田房江(現参議院議員)とご一緒に1時間ご講演いただきました。その後は学術部10部門の部門長・部員から各30分ずつご講演いただきました。朝9時から昼食休憩をはさみ17時までの終日研修で、「免疫・化学を担当する人へ：私が伝えたいこと」、「知らなかったは通用しない：血液・止血検査を始める前に」、「一般検査の外してはいけないポイント」、「救急医療と臨床検査の関わり」、「“臨床”微生物検査技師であれ」、「心電図のABC」、「遺伝子関連検査における測定前プロセス(プレアナリシス)の重要性」、「個人情報保護と情報セキュリティ」、「市中病院での病理検査」、「安心して輸血検査を行うための基礎知識」の熱心なご講演頂きました。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大により政府から緊急事態宣言がありました。そのため開催を中止しました。2021年は感染予防対策を十分に行い、会場でセミナー開催とZoomで会場の様子をライブ配信するハイブリッド形式で行いました。「遺伝子関連検査」を加えて、前回好評だったのでできるだけ同じ内容をご講演いただき、さらに短時間でぎゅっと詰め込んでお話いただき、半日開催としました。

2022年は感染拡大状況から、会場でのセミナー開催は行わず、技師会事務所に講演者の皆様に集めていただき、Zoomライブ配信で半日開催しました。

毎回本セミナーは、新人さんからベテランさんまで多くの方に参加いただき、好評をいただいています。次年度以降も継続して、春に皆様の背中を押して、新たなお仕事へ送り出していきたいと思っております。





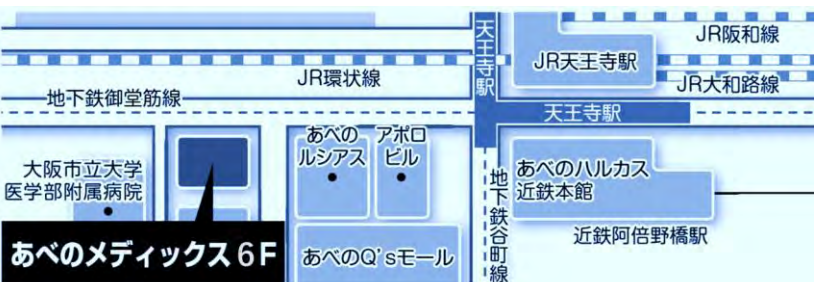
年齢

みんな集れ！ 臨床検査業務 スタートセミナー

今春の新規採用者あるいは部署移動等により新しい業務を担当する方を対象に、業務を始める心構え・基礎知識・業務内容・安全管理・感染予防策などの基本的な知識・技術を学ぶセミナーです。新人さんからベテランさんまで、みなさま是非、お誘い合わせのうえご参加ください。

日時
2019年4月20日 (土)
9:00～16:00 受付8:30～

場所
あべのメディックス
6階ホール



連絡先：公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
(06-6763-5652 office@osaka-amt.or.jp)

参加費 みんな無料

※セミナーに最初から最後まで受講された会員には、修了証を配布させていただきます。

プログラム

- 9:00-10:00 (日臨技) 情勢報告
臨床検査技師を取り巻く社会とその未来のために
参議院議員・日臨技会長 宮島 喜文
- 10:00-10:30 (免疫化学)
免疫・化学を担当する人へ
～私が伝えたいこと～
淀川キリスト教病院 井尻 健太郎
- 10:30-11:00 (血液)
知らなかったは通用しない
～血液・止血検査を始める前に～
大阪医科大学附属病院 榎谷 亮太
- 11:00-11:30 (一般)
一般検査の外してはいけないポイント
堺咲花病院 吉永 治代
- 11:30-12:00 (緊急)
救急医療と臨床検査の関わり
枚方公済病院 藪 圭介
- 12:00-13:00 昼食
- 13:00-13:30 (微生物)
“臨床”微生物検査技師であれ
大阪大学医学部附属病院 木村 圭吾
- 13:30-14:00 (生理機能)
心電図のABC
市立豊中病院 齋藤 直輝
- 14:00-14:30 (遺伝子)
遺伝子関連検査における
測定前プロセス(プレアナリス)の重要性
大阪国際がんセンター 山本 章史
- 14:30-15:00 (検体管理システム)
個人情報保護と情報セキュリティ
大阪メディカルラボトリー 佐藤 宏美
- 15:00-15:30 (病理細胞)
市中病院での病理検査
堺市立総合医療センター 佐々木 伸也
- 15:30-16:00 (輸血)
安心して輸血検査を行うための基礎知識
大阪大学医学部附属病院 清川 知子
- 16:00 閉会

第2部 大阪で開催された学会

大臨技医学検査学会

学術部 安保 浩二

本学会は運営を全て若い技師に委ね、「次世代の技師による次世代の学会」をコンセプトとして2017年2月に第1回大臨技医学検査学会が開催されました。その後、第4回までは毎年開催されていましたが、昨今の新型コロナウイルスの影響により2021年、2022年は開催中止を余儀なくされました。

学会の運営自体は、開催コンセプトのとおり次世代を期待される若いスタッフが実行委員として企画の発案から運用までを担当しました。第1回から第4回まで会を重ねるごとに、学会運営を通じて若いスタッフの成長を垣間見ることができました。

1. 第1回大臨技医学検査学会

テーマ:世代を超えてつなげる心と技術

平成29年2月12日(日) 10:00～16:00 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)12階

学会長:竹浦久司

特別企画:

1) 教育セミナー

- ① 発表に必要な分析系の論文セオリー・学会発表テーマの見つけ方
- ② 症例報告の発表の仕方、症例の見つけ方
- ③ 発表に必要な統計学・データ分析方法

2) シンポジウムⅠ 当直検査のピットフォール

- ①分析化学検査、②血液検査、③血液ガス検査、④一般検査、⑤輸血検査、⑥微生物検査

3) シンポジウムⅡ R-CPC

4) 検査の実体験

- ①形態検査の目合わせ(血液像、細胞診、グラム染色、髄液)、②超音波検査のハンズオン
- ③輸血手技チェック

5) 府民公開講座「患者さまへの検査説明」

講師:杉山 昌晃(市立岸和田市民病院 医療技術局中央検査部)

6) ランチョンセミナー

一般演題:14 演題

2. 第2回大臨技医学検査学会

テーマ:Next step from First step ～のばせ検査のころ・技術・研究～

平成30年2月12日(月・祝) 9:00～16:00 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)11階・12階

学会長:竹浦久司

特別企画:

1) 教育セミナー

- ①学会発表のコツ～基礎検討から論文投稿を目指して～
- ②臨床検査技師における卒後教育と学会発表 ～微生物検査分野を中心に～
- ③学術業績を残す そして次のステップへ

- 2) シンポジウム I 症例提示 千本ノック
- 3) R-CPC
- 4) 形態総合カンファレンス(血液、細胞診、グラム染色、一般)
- 5) 府民公開講座「検査結果のそこが知りたい！あなたの不安にお答えします」
講師: 諏訪部 章(岩手医科大学医学部 臨床検査医学講座)
- 6) ランチョンセミナー

一般演題: 13 演題

3. 第 3 回大臨技医学検査学会

テーマ: めざせ次世代型検査技師 ～臨床検査の可能性～

平成31年2月10日(日) 9:00～16:00 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)11階・12階

学会長: 竹浦久司

特別企画:

- 1) 特別講演 テーマ: 臨床検査の可能性
 - ① がんゲノム医療を支える臨床検査技師になるために ～求められる 6 の Tips～
講師: 柳田 絵美衣 (慶応義塾大学医学部 腫瘍センター)
 - ② 救命救急センターにおける中毒診療
講師: 福田 真樹子 (大阪府三島救命救急センター)
- 2) 教育講演 I テーマ: 法改正に伴うこれからの精度保証と精度管理
 - ① 医療法等の一部を改正する法律の一部施行の全容について
講師: 滝野 寿 (日本臨床衛生検査技師会)
 - ② 精度保証と精度管理
講師: 山本 裕之 (大阪赤十字病院 臨床検査科)
- 3) 教育講演 II テーマ: 検査部門の収益を考える
講師: 杉山 昌晃 (市立岸和田市民病院 医療技術局中央検査部)
- 4) シンポジウム 症例から病態を診る ～生理機能検査×検体検査～
- 5) 検査の実体験 (一般、微生物、血液、輸血、生理)
- 6) 府民公開講座「Integrated Resort(IR)統合型リゾートについて ～IR と医療の関わり～
観光都市 大阪だからこそ知ってほしい！」
講師: 溝畑 宏(大阪府・大阪市 IR 推進会議座長 公益財団法人大阪観光局理事長 元観光庁長官)
- 7) ランチョンセミナー

一般演題: 15 演題

4. 第 4 回大臨技医学検査学会

テーマ: 己を知り、己を拓く(同時開催 第 30 回生物試料分析科学会年次学術集会)

令和2年2月1日(土)・2日(日) 千里ライフサイエンスセンター

学会長: 高田 厚照

特別企画:

- 1) 大臨技教育講演
「己を拓く！～おさえておきたい！免疫チェックポイント阻害剤と irAE～」

講師:金田 裕靖(大阪市立大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学)

2) シンポジウム テーマ:急増する梅毒にせまる!

① 梅毒関連検査の結果の読み方

講師:井尻 健太郎 (淀川キリスト教病院 臨床検査課)

② 『梅毒診療ガイド』の紹介と最新の梅毒事情

講師:古林 敬一 (そねざき古林診療所)

③ 梅毒と感染症 ～行政の立場から～

講師:新海 のり子 (大阪府健康医療部 保健医療室 医療対策課 感染症グループ)

3) 教育セミナーⅠ テーマ:肝疾患へのアプローチ

① 検体検査からみる肝疾患

講師:藤原 明寛 (国立循環器病研究センター 臨床検査部)

② 画像検査からみる肝疾患

講師:川端 聡 (住友病院 診療技術部 超音波技術科)

③ 肝疾患の治療と検査

講師:喜多 竜一 (大阪赤十字病院 消化器内科)

4) 教育セミナーⅡ テーマ:臨床検査技師としてのキャリアアップ!

① エクセルデータベース「トリビア」

講師:山西 八郎 (天理医療大学 医療学部 臨床検査学科)

② チャレンジ国際学会!(現地のグルメと病院見学)

講師:井口 健 (大阪医科大学附属病院 病院医療情報部)

5) ワークショップ「当直時のピットフォール ～知っておかなければならない当直のこと～」

①生化学、②血液・止血、③輸血、④一般、⑤ロールプレイ

6) スライドカンファレンス「己を知る!～症例クイズ～」

7) 症例カンファレンス

8) 府民公開講座「世界初の最先端技術『N-NOSE』～1滴のおしっこで手軽にできるがん検査～」

講師:広津 崇亮 (株式会社 HIROTSU バイオサイエンス代表取締役)

9) 令和元年度大臨技臨床検査データ標準化サーベイ報告会 <大臨技精度管理部共催>

10) ハンズオンセミナー「神経生理(脳波・神経伝導速度)」

11) 生物試料分析科学会との合同企画

①コラボ企画Ⅰ 血栓の存在を、凝固検査と画像検査から観る

②コラボ企画Ⅱ 徹底討論!なんでそれなん? -HbA1c 編-

12) 日本医療検査科学会 POC 技術委員会との合同企画

①POC セミナー「コテコテの救急医療」

13) ランチョンセミナー

一般演題:16 演題

4. 第5回大臨技医学検査学会

新型コロナウイルスの影響により開催中止

第2回 大臨技 医学検査学会

Next step from First step
～のびせ検査の ころろ・技術・研究～

会期 2018年2月12日(月・祝) 9:00～(受付8:30～)

会場 大阪府立国際会議場 11階・12階
【グランキューブ大阪】

学会長 竹浦 久司 (きつこう会 多根総合病院)

内容：特別企画

- シンポジウム 症例提示 千本ノック! (7分野) - ■教育セミナー (3講演)
- RCPC (Reversed Clinico-Pathological Conference) (2 症例)
- 形態総合カンファレンス 一般・血液・細胞診・微生物
- 府民公開講座 14:00～15:00(開場 13:30) 共催:アボット ジャパン株式会社
『検査結果のそこが知りたい! あなたの不安にお答えします』
講師: 諏訪部 章 (若手医科大学 臨床検査医学講座 教授)
- ランチョンセミナー (ラボ・ツアー 他) ■一般演題 13 演題
- 企業展示

◆参加費 大臨技会員 または 日臨技会員 3,000円 非会員 10,000円

◆学会ホームページ <http://www.osaka-amt.or.jp/taikai02>

第2回大臨技医学検査学会 事務局
株式会社日本旅行 西日本 MICE 営業部内
TEL: 06-6342-0212 FAX: 06-6342-0214 E-mail: dairing2@nta.co.jp
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第4ビル5階 (営業時間 平日 9:45～17:45 (土日祝日未定 休業))

OSAKA ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

第3回 大臨技医学検査学会

めざせ次世代型検査技師 ～臨床検査の可能性～

📅 **2019年2月10日 日**

📍 **大阪府立国際会議場 11・12 階**
(グランキューブ大阪)

👛 **会員 3,000円 / 非会員 10,000円**

特別講演

【臨床検査の可能性】
「がんゲノム医療を支える臨床検査技師になるために」
柳田 結美衣 (慶應義塾大学医学部 腫瘍センター)
「救命救急センターにおける中毒診療と検査」
福田 昌樹子 (大阪府三島救命救急センター)

教育講演 I・II

【法改正に伴うこれからの精度保証と精度管理の在り方】
「精度管理と精度保証」
山本 裕之 (大阪赤十字病院)
「法改正について」
滝野 典 (一般社団法人日本臨床衛生検査技師会)

【検査部門の収益を考える】
杉山 盛典 (中立芦屋病院)

シンポジウム

【症例から病態を診る
～生理機能検査 × 検体検査～】
司会進行 吉野 正享 (よしかりクリニック 院長)
・荒木 俊彦 (大阪大学医学部附属病院)
・川端 聡 (住友病院)
・山崎 正之 (大阪府済生会中津病院)

その他企画

ランチョンセミナー
～他の部門で働く人にとってほしい検査の知識～
共催 アボットジャパン株式会社
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

実体験コーナー
生理・精血・微生物・病理・血液・一般

府民公開講座
「Integrated Resort (IR) 統合型リゾートについて」
～IRと医療の関わり～
溝畑 宏 (大阪観光局 理事長)

学会長 竹浦 久司 (多根総合病院) / 実行委員長 上野 恒寿 (大阪市立大学医学部附属病院)
【事務局】(公社) 大阪府臨床検査技師会 第3回大臨技医学検査学会
大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合 4階
TEL: 06-6783-5652 メール: 3rdcomt@amt.jp

第4回
大臨技医学検査学会

己を知り、己を拓く

演題募集

エントリー期間
2019年9月1日~11月5日

エントリーは日臨技会員専用ページから行ってください。
抄録作成の詳細もそちらから確認できます。

2020年2月1日~2月2日
千里ライフサイエンスセンター



公益社団法人大阪府臨床検査技師会
第4回大臨技医学検査学会事務局



第4回
大臨技医学検査学会
府民公開講座

参加費
無料

がん検査の常識が大きく変わる！

世界初の最先端技術『N-NOSE』

～1滴のおしっこで手軽にできるがん検査～

2020年1月 実用開始！ 線虫がん検査『N-NOSE(エヌ・ノーズ)』

体長およそ1mmの線虫は人の3倍、犬の1.5倍もの嗅覚受容体を持ち、嗅覚に優れています。その線虫が、おしっこ1滴からがんの匂いを嗅ぎ分けるという生物の能力を活用した『N-NOSE』は全身網羅的にがんリスクが調べられる新しい検査です。検査は、安くて簡便・高精度。がん検査の心理的・経済的ハードルがぐっと下がりました。世界最先端のこの検査を開発された広津崇亮先生をお招きし、ご講演いただきます。

日時 2020年2月2日(日)
15:00~16:00 (14:30 受付開始)

会場 千里ライフサイエンスセンター5階
サイエンスホール

- 御堂筋線 千里中央行 終点
「千里中央」駅下車(北出口すぐ)
- 大阪モノレール 門真市行
「千里中央」駅下車(徒歩5分)



講師 広津 崇亮

兼HIROTSUバイオサイエンス
代表取締役

1972年 山口県生まれ
2001年 東京大学大学院博士課程修了
博士(理学)
大学院博士課程より、線虫の嗅覚についての
研究を開始。線虫の匂いに対する嗜好性を解
析した論文が2000年3月、英科学誌Natureに
掲載される。2016年には無痛・無侵・安価・
高精度で早期がんを発見する検査『N-NOSE』
の実用化を目指して起業。

お問い合わせ先
第4回大臨技医学検査学会事務局

Mail 4thcomt@oamt.jp
HP <http://osaka-amt.or.jp/taikai04>

大阪府臨床検査技師会 検索



第 71 回日本医学検査学会 in 大阪

躍動！次代へ繋ぐ臨床検査～challenge for the future～

学会事務局長 梶 勝史

本学会は2022(令和4)年5月21日(土)、22日(日)の両日において大阪ベイエリアの ATC ホールとハイアットリージェンシー大阪の2会場で現地開催を実施し、5月21日から7月10日までオンデマンド配信を行うハイブリッドで実施いたしました。

学会プログラムとして学会長講演、宮島喜文日本臨床衛生検査技師会(日臨技)会長による基調講演、特別講演、文化講演、日臨技企画、71JAMT 企画、共催企画、シンポジウム、ワークショップ、教育講演、パネルディスカッション、共催シンポジウム、大臨技企画、ハンズオンセミナーなどの特別企画115演題、一般演題488演題、共催セミナー21社、展示61社の規模となりました。

学会参加総人数は5,914名、現地参加人数は学生、協賛企業を含め3,617名、参加企業数はのべ113社、スタッフのべ438名となり現地開催、オンデマンド開催の良い面が合わさって現れた形となりました。開会式のセレモニーを開催した展示会場が会員の皆さまや展示企業の関係者の皆さまにより熱気ある雰囲気であふれた空間となり久々の現地開催を開催できた喜びと満足感に感動することができました。

大阪での開催は24年ぶりであり、4年前より学会開催ということで会場確保や学会開催計画を立てて準備を始めましたが新型コロナウイルス感染症の発生、蔓延により日臨技の開催承認を得るためにも計画の変更が必要となり、大阪開催が決定しても現地開催に関しては不透明で開催約2か月前に正式に現地開催が許可されました。現地開催、Web開催という異なった形式でもどのようにすれば大阪として特色のある学会運営を行えるか実行委員会をはじめ大臨技学術部が中心となり企画を考案しました。

文化講演では著名人を招待するのではなく大阪の文化や地域を反映した身近な企画を実施しました。今回のテーマを「躍動！次代へ繋ぐ臨床検査～challenge for the future～」とし、未来に向け如何に行動をすればよいか、その一考として世界的な研究者である林崎良英先生の研究に触れていただき、種々の企画が検査室という殻を破り多方面に活躍の道を切り開いていくためのスキルアップの糧になれば幸いです。

Challenge ということで今回初めて大臨技発として技師ラジオ、技師ナビ、技師ロケからなる「技師カフェ」を企画いたしました。学生・現役技師・企業が参加できるユニークな企画で宮島会長も飛び込みで参加されました。ひとつ残念な点をあげるとすれば折角現地に足を運んでいただいたのに感染対策で会場の収容人数を制限したことにより入場できない事態が生じた点です。

本学会開催にあたり多大なるご支援とご協力をいただきました日臨技近畿支部の皆様、日臨技の皆様、大臨技の皆様、学会運営関係の皆様、ご参加いただいた会員の皆様、協賛企業の皆様に心から御礼を申しあげ学会の報告とさせていただきます。

The 71st JAMT CONGRESS 2022 in Osaka
2022 in Osaka

躍動!次代へ繋ぐ臨床検査
~Challenge for the future~

第71回日本医学検査学会
in大阪

令和4(2022)年**5/21**(土)・**22**(日)
ATCホール ハイアットリージェンシー大阪 (大阪市住之江区南港北)

学 会 長 高田 厚照 (関西医科大学総合医療センター)
実行委員長 増田 詩織 (近畿大学奈良病院)
主 催 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
担 当 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

演題 2021年10月1日(金)
募集期間 ~11月30日(火)

学会事務局 / 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
〒543-0018 大阪市天王寺区空堀町8-33 大阪府医師協同組合東部4階
運営事務局 / 株式会社日本旅行 大阪法人営業統括部 MICE営業部
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1 山口玄ビル6F TEL:06-4256-3869 FAX:06-6204-1763 E-MAIL:jamt2022@nta.co.jp

URL:<http://web.apollon.nta.co.jp/jamt2022/>

MTJ特集記事 見出し

第1578号 (第3種郵便物認可) THE MEDICAL & TEST JOURNAL 2022年5月11日 (水曜日) (3)

第71回日本医学検査学会 The 71st JAMT CONGRESS 2022

INTERVIEW

学 会 長 高田 厚照氏 [関西医科大学くずは病院 検査部]
実行委員長 増田 詩織氏 [近畿大学奈良病院 臨床検査部]
事務局 梶 勝史氏 [大阪旭こども病院 医療技術部]

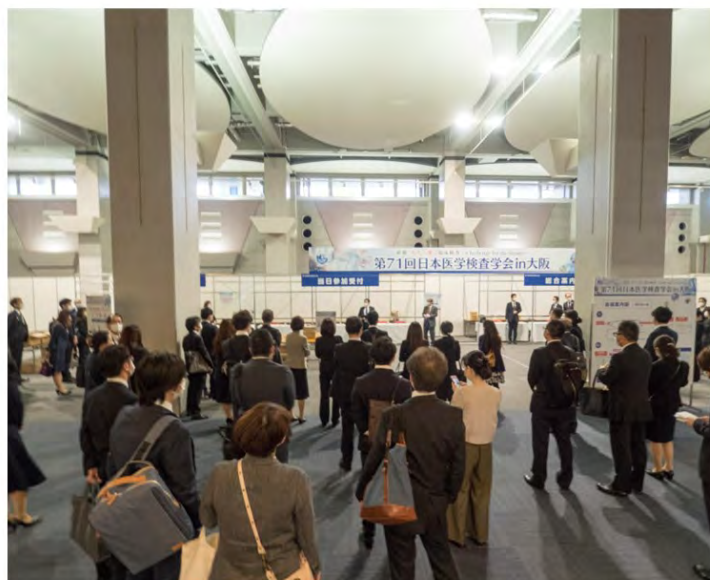
3年ぶり現地中心の開催、大阪らしさ随所に

第71回日本医学検査学会in大阪は5月21～22日、大阪市の2会場を中心にハイブリッド形式で開催される。大阪開催は24年ぶり。「躍動!次代へ繋ぐ臨床検査 ~Challenge for the future~」をテーマに据え、基調講演や文化講演、分野別企画などの多彩なセッションが行われる。担当する大阪府臨床検査技師会(大臨技)では、「大阪らしさ」を随所にちりばめ、3年ぶりとなる本格的な現地開催へ向け、多くの参加者を迎える準備を整えた。

学会長の高田厚照氏(関西医科大学くずは病院)、実行委員長の増田詩織氏(近畿大学奈良病院)、事務局長の梶勝史氏(大阪旭こども病院)の3人に学会の特色などを聞いた。

(左から)増田氏、高田氏、梶氏

総合受付



技師カフェ



第1会場



第2会場



第3会場



第4会場



第5会場



第6会場



第7会場



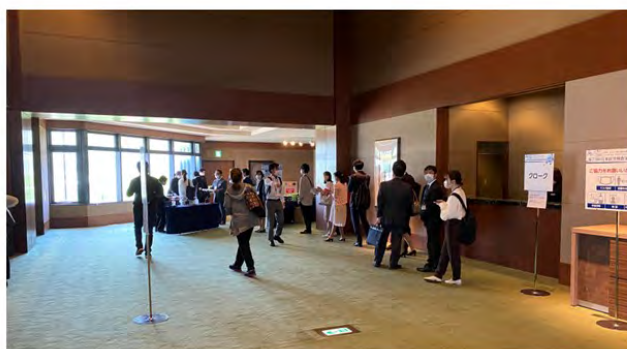
第8会場



第9～11会場(ハンズオン)



ハイアットリージェンシー大阪会場(第5～8会場)



展示会場(ATCホール)

躍動!次代へ繋ぐ臨床検査 ~Challenge for the future~
第71回日本医学検査学会in大阪

企業展示会場案内図

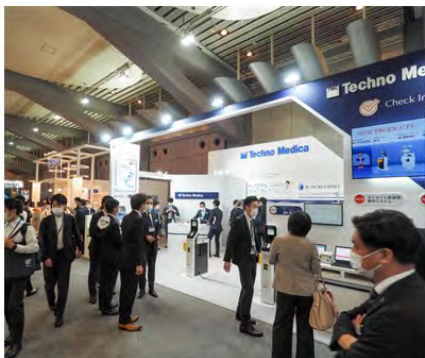
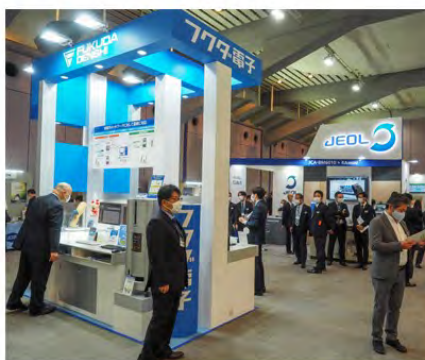
【主催者関連団体一覧】

- P-1 IFBLS 2022 in Suwon, Korea
- P-2 72JAMT 次期開催広島ブース
- P-3 日本臨床検査技師連盟
- P-39 (一社)日本臨床検査技師協会の会
- P-40 文化産業 福井県内各機関
- P-41 (公財)日本遺伝性疾患協会(JAB)
- P-42 (一社)日本化粧品協会
- P-45 ウクライナ人道支援委員会

【出展社一覧】

P-4 アイテック阪急府神庫	P-17 株式会社ヨウ	P-30 株式会社エアンドティー	S-1 シスメックス株式会社	S-12 キヤノンメディカルシステムズ株式会社
P-5 セラビジョンジャパン株式会社	P-18 株式会社電機製作所	P-31 ミナト医科学株式会社	S-2 東ソー株式会社	S-13 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
P-6 フェザー安全剃刀株式会社	P-19 エッペンドルフ株式会社	P-32 株式会社三和化学研究所	S-3 株式会社タフメディカ	S-14 株式会社メディックス (P&K エンリッチド・ラボラトリー株式会社)
P-7 株式会社オネスト	P-20 アルフレッサファーマ株式会社	P-33 村岡工業株式会社	S-4 株式会社積水メディカル	S-15 鹿洲製薬株式会社
P-8 関東化学株式会社	P-21 株式会社ミスホメディー	P-34 アボットジャパン(株)	S-5 栄研化学株式会社	S-16 ロシュ・ディアグノスティクス株式会社
P-9 株式会社ユーケンサイエンス	P-22 サクラファインテックジャパン株式会社	P-35 富士通Japan株式会社	S-6 日本光電工業株式会社	S-17 株式会社日立ハイテック
P-10 アジア器材株式会社	P-23 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社	P-36 住友ベークライト株式会社	S-7 ニプロ株式会社	S-18 富士フイルム光学株式会社 富士フイルムメディカル株式会社
P-11 株式会社バイオデザイン	P-24 バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社	P-37 日本製薬株式会社	S-8 デンカ株式会社	S-19 株式会社ビー・エム・エル
P-12 旭電機化成株式会社	P-25 株式会社グライナー・ジャパン	P-38 (一社)日本臨床検査機器・装置・システム連携協会	S-9 オンソノ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社	S-20 フクダ電子株式会社
P-13 株式会社タウンス	P-26 株式会社常光	P-39 ベックマン・コールター株式会社	S-10 アークレイマーケティング株式会社	S-21 日本電子株式会社
P-14 ギルスタット株式会社	P-27 株式会社チエスト	P-44 ラジオメーター株式会社	S-11 株式会社アイディエス	S-22 小林クリエイト株式会社
P-15 パルステック工業株式会社	P-28 Invivoscribe/LabPMM(関)			
P-16 株式会社キユーメイ研究所	P-29 アレクシオンファーマ(関)			

書籍 有ワニコ書店(ホウエイ)





第3部 資料

表彰

■厚生労働大臣表彰

平成 29 年 6 月

井戸田 篤

荒木 年夫

田畑 泰弘

令和 3 年 2 月

酒井 正容

令和 4 年 2 月

杉山 昌晃

■憲法記念日知事賞

平成 30 年 5 月

酒井 正容

平成 31 年 5 月

杉山 昌晃

令和 2 年 5 月

山西 八郎

令和 4 年 5 月

増田 詩織

久保田 芽里

■日本公衆衛生協会会長賞

令和 3 年 2 月

杉山 昌晃

■小島三郎記念技術賞

令和 3 年 6 月

山西 八郎

■旭日双光章

令和 2 年 9 月

朝山 均

感謝状表彰

■2017(平成 29)年度

赤木 征宏 (大阪警察病院)
梅戸 真弓 (大阪警察病院附属人間ドッククリニック)
高田 裕子 (明生病院)

■2018(平成 30)年度

大西 修司 (関西医科大学附属病院)
櫛引 健一 (和泉市立総合医療センター)
東山 智宣 (淀川キリスト教病院)

■2019(令和元)年度

桑山 和哉 (南大阪病院)
浅沼 晴雄 (東住吉森本病院)
三原 勝利 (JCHO 神戸中央病院)
堀井 邦寿 (関西医科大学附属病院)

■2020(令和2)年度

岩津 浩子 (MI クリニック)
岡部 文雄 (大阪府結核予防会相談診療所)
名嘉 正勝 (大阪刀根山医療センター)

■2021(令和3)年度

喜舎場 智之 (阪南中央病院)
上遠野 明 (南大阪病院)

■2022(令和4)年度

江後 京子 (松下記念病院)
上村 ゆり子 (株式会社サンキメディカルラボラトリーズ)
武村 真由美 (松下記念病院)
中家 清隆 (大阪公立大学医学部附属病院)
松倉 嘉士 (大阪血清微生物研究所)
松本 典久 (市立吹田市民病院)
藪 圭介 (枚方公済病院)
横山 有子 (ふくだ内科クリニック)

日本臨床衛生検査技師会 永年職務精励者

■2017(平成 29)年度 (65 名)

倉本 訓子	公益財団法人日本生命済生会付属日生病院
小笠原 康隆	
直江 清美	大阪腋済会病院
衣笠 宏	恩賜財団済生会大阪府済生会中津病院
川口 春美	
杉本 真弓	大阪警察病院付属人間ドッククリニック
福井 喜夫	医療法人寺西報恩会長吉総合病院
内野 高裕	公益財団法人日本生命済生会付属日生病院
村上 登喜子	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
山本 郁子	市立ひらかた病院
高野利 茂子	医療法人養心会国分病院
宮澤 由美	一般財団法人住友病院
朴 國允	医療法人同友会共和病院
井本 早希子	
田甫 康弘	近畿大学医学部附属病院
中村 恵子	淀川キリスト教病院
長尾 顕一	財団法人大住阪友生命社会福祉事業団住友生命総合健診システム新大阪
石田 繁則	大阪市立大学医学部附属病院
山本 康晴	国家公務員共済組合速合会大手前病院
村上 珠美	
渡辺 周吾	独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター
井上 美砂	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
尾羽根 範員	一般財団法人住友病院
吉矢 直司	
北浦 克裕	
中村 盛高	市立ひらかた病院
北畠 律子	財団法人大阪府警察協会大阪警察病院
高吉 尚子	富士フイルムメディカル株式会社
浦島 良江	財団法人大阪府警察協会大阪警察病院
小阪 和義	株式会社日本医学臨床検査研究所堺ラボ
弘中 由佳	社会医療法人医真会医真会八尾総合病院
城島 留美	
柳川 香	社会医療法人きつこう会多根総合病院
神農 和枝	医療法人敬仁会今里胃腸病院
神田 典尚	医療法人德州会八尾徳洲会総合病院
大谷 貴夫	社会医療法人行岡医学研究会行岡病院

山岡 学	関西医科大学附属病院
豊田 耕三	
杉山 智佳子	医療法人橘会東住吉森本病院
沢野井 卓	
曾根 万里子	独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター
辻 博之	淀川キリスト教病院
出野 憲由	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
深澤 雅信	医療法人友紘会彩都友紘会病院
長瀬 明美	医療法人大寿会大寿会病院
西村 健吾	社会医療法人行岡医学研究会行岡病院
岩永 康弘	大阪細胞病理研究所
松田 忠司	地総方合独医立療行セ政法人大阪府立病院機構大阪府立急性期・総合医療センター
芦村 純一	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立成人病センター
眞藤 眞	株式会社長谷エコーポレーション長谷エクリニック
星宮 房恵	医療法人社団有隣会東大阪病院
福森 恭代	
戸崎 知枝	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
松井 淳	桂寿病院
深田 恵利奈	恩賜財団済生会大阪府済生会中津病院
大西 さゆり	医療法人河茂会河崎内科病院
西崎 良	社会医療法人生長会ベルランド総合病院
谷口 正規	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院
篠倉 潔	NTT 西日本大阪病院
浅田 玲子	大阪鉄道病院
河合 賢	市立池田病院
中澤 佳代	
川崎 純一	
岡洋 一郎	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
鈴木 智恵	市立吹田市民病院

■2018(平成30)年度 (49名)

市川 典子	医療法人中馬医療財団中馬病院
内山 勲	大阪市立総合医療センター
市邊 和男	関西医科大学総合医療センター
市邊 明美	関西医科大学総合医療センター
長澤 恵子	社会医療法人祐生会みどりヶ丘病院
浦田 淳喜	医療法人寺西報恩会長吉総合病院
釜田 生子	日本赤十字社近畿ブロック血液センター
森下 恵美子	和泉市立病院
岩谷 浩美	

村上 由美	パナソニック健康保険組合松下記念病院
山内 一浩	市立豊中病院
池口 範子	医療法人育和会育和会記念病院
蔵元 博行	社会医療法人生長会ベルランド総合病院
芝尾 真由美	独立行政法人堺市立病院機構堺市立総合医療センター
松本 由美子	
山中 ひろみ	医療法人德州会八尾徳洲会総合病院
藤田 美晴	パナソニック健康保険組合松下記念病院
片柳 敏男	独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター
池邊 麻里	社会医療法人生長会ベルランド総合病院
圃野 恭子	大阪警察病院附属臨床検査センター
桑山 明子	
藤岡 載三	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院
船越 あゆみ	一般財団法人阪大微生物病研究会
寺道 恭子	谷口消化器内視鏡クリニック
高岡 智子	一般財団法人大阪府警察協会北大阪警察病院
松本 裕子	
兼田 信子	社会医療法人景岳会南大阪病院
松本 幸一	社会福祉法人大阪暁明館大阪暁明館病院
埜村 則広	医療法人徳洲会東大阪徳洲会病院
橋本 修治	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
大江 泰浩	西日本旅客鉄道株式会社健康増進センター
道中 浩美	
永田 昌義	箕面市立病院
池田 美紀	
森田 純子	
在間 由香	医療法人仙養会北摂総合病院
林 恵美子	
藤田 幸二	大阪鉄道病院
山口 ゆかり	社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院
金 敏幸	医療法人同友会共和病院
緒方 久美子	富士微生物研究所
野上 毅	
中本 弘	社会医療法人行岡医学研究会行岡病院
兜森 美和子	医療法人篤静会谷川記念病院
加世田 有紀	
岡本 洋子	
明賀 幸敬	独立行政法人国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
山下 省一	富士フイルム和光純薬株式会社

■2019(令和元)年度 (91名)

窪内 弘道	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
山下 亘	大阪市立大学医学部附属病院
原 克則	地方独立行政法人りんくう総合医療センター
玉村 伯子	医療法人警和会北大阪警察病院
水谷 雅生	独立行政法人 地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター
大音 ゆみ	大阪医科大学附属病院
橋詰 久美子	市立豊中病院
山本 寿美	
林 久美子	株式会社ビー・エム・エル BML 新大阪
篠原 美由姫	医療法人育和会育和会記念病院
川口 公次	
高羽 禎久	
小原 和子	パナソニック健康保険組合松下記念病院
廣辻 和子	社会医療法人医真会医真会八尾総合病院
中島 文代	
船木 有香	
家門 陽子	
大野 和浩	医療法人橘会東住吉森本病院
下田 昌司	一般財団法人大阪府結核予防会相談診療所
江川 和美	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター
塩見 香織	近畿大学医学部附属病院
杉本 則子	一般財団法人住友病院
岡部 文雄	一般財団法人大阪府結核予防会相談診療所
浦岡 孝子	
森 宏樹	医療法人警和会大阪警察病院
前田 匡	大阪警察病院附属臨床検査センター
中矢 桂子	関西医科大学総合医療センター
上田 裕子	医療法人錦秀会阪和記念病院
守屋 嘉昭	医療法人和敬会星田南病院
山崎 正之	恩賜財団済生会大阪府済生会中津病院
井本 真也	
永峰 知子	
初山 弘幸	独立行政法人 国立病院機構大阪医療センター
富山 まどか	
浅井 典彦	
小島 義忠	地方独立行政法人りんくう総合医療センター
里中 多河子	医療法人健昌会福島健康管理センター
中村 恒仁	恩賜財団済生会大阪府済生会中津病院
浅井 奎子	医療法人社団石錠会田辺中央病院

水原 祐次	大阪市立大学医学部附属病院
吉野 知治	一般財団法人住友病院
太田 敏子	大阪医科大学附属病院
井口 健	大阪医科大学附属病院
木村 邦子	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
高岸 麻衣子	財団法人淀川勤労者厚生協会西淀病院
堀川 里美	富士フィルム和光純薬株式会社
大久保 宗昭	医療法人清恵会清恵会病院
横田 裕香	地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター
中野 豊	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター
中川 貴司	日本赤十字社大阪赤十字病院
盛本 美恵子	関西医科大学附属病院
上西徳治	
藤井 和則	大阪鉄道病院
堀井 邦寿	関西医科大学附属病院
白糸 隆則	医療法人医誠会茨木医誠会病院
真鍋 史朗	国立大学法人大阪大学医学部附属病院
中西 美紀	医療法人寺西報恩会長吉総合病院
前谷 優子	
東 良子	関西医科大学附属病院
濱田 匡樹	医療法人良秀会高石藤井心臓血管病院
玄 景明	
前田 由美子	
太田 郁子	
横山 有子	医療法人弘正会心くだ内科クリニック
久保 恵子	医療法人河内友紘会河内総合病院
高田 裕子	社会医療法人明生会明生病院
潮平 俊美	
喜舎場 智之	社会医療法人阪南医療福祉センター阪南中央病院
津田 久美	医療法人河崎会水間病院
大西 典子	関西医科大学天満橋総合クリニック
山根 景次	関西医科大学附属病院
宮坂 昌世	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院
土井 美都子	高槻赤十字病院
向井 浩美	
池田 勝美	社会福祉法人寺田萬寿会寺田萬寿病院
宮林 明美	
尾鍋 真理子	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院
長谷川 悟	医療法人微風会浜寺病院
甲斐田 淑子	

村瀬 正美	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院
山根 綾	
琉 健二	医療法人沖繩徳洲会吹田徳洲会病院
大原 真由美	国立大学法人大阪大学医学部附属病院
若林 和彦	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
北川 直美	関西医科大学天満橋総合クリニック
高安 祥子	社会福祉法人恩賜財団済生会大阪府済生会野江病院
鷹井 敏子	一般財団法人甲南会甲南病院
菅谷 敢	
岩田 幸代	医療法人公道会公道会病院
奥田 里美	日本光電関西株式会社
森 昌彦	大阪市立十三市民病院

■2020(令和2)年度 (61名)

池田 浩哲	株式会社ビーエムエル BML 神戸
奥野 晴久	関西医科大学附属病院
北林 祥代	
楠井 智美	健康診断新長堀診療所
谷家 恵一	市立貝塚病院
中平 純子	
吉田 正巳	株式会社 日本医学臨床検査研究所堺ラボ
上村 ゆり子	株式会社サンキメデイカルラボラトリー
原 久美	
松浦 宏美	近畿大学病院
中塚 幸司	市立貝塚病院
片岡 由里	市立ひらかた病院
笹谷 純平	社会医療法人生長会ベルランド総合病院
岡前 文子	関西医科大学香里病院
下浦 裕佳子	
山下 博美	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
前田 記代子	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
福田 央子	独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院
新本 伸枝	医療法人錦秀会阪和住吉総合病院
森 智美	独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院
内野 義彦	大阪鉄道病院
東 修一	独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院
樫原 雅美	関西医科大学総合医療センター
部谷 晃子	関西医科大学附属病院
山田 聡	医療法人みどり会中村病院
中原 正博	医療法人啓仁会咲花病院

坂口 智子 パナソニック健康保険組合松下記念病院
 新家 啓司
 岡本 秀雄 一般財団法人住友病院
 大橋 暁子 社会医療法人仙養会北摂総合病院
 西野 利佳 社会医療法人同仁会耳原総合病院
 橋本 寛子 関西電力病院
 朝日 佳代子 国立大学法人大阪大学医学部附属病院
 沖村 ヨシ子
 東野 幸代 株式会社日本医学臨床検査研究所堺ラボ
 長村 憲一 社会医療法人行岡医学研究会行岡病院
 井手 守彦 株式会社日本医学臨床検査研究所堺ラボ
 伊東 千絵 医療法人竹村医学研究会小阪産病院
 石田 徳子 社会医療法人有隣会東大阪病院
 増本 岳彦
 小林 知子 社会医療法人景岳会南大阪病院
 渡邊 雅美 医療法人西浦会京阪病院
 番匠 正憲 医療法人貴医会貴島中央病院
 村上 誠司 医療法人尽生会聖和病院
 坂下 知章
 山中 良之 医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院
 阪田 けい子 医療法人ラポール会青山藤ヶ丘病院
 中川 博子
 福山 智子 恩賜財団済生会大阪府済生会中津病院
 上田 知英子
 梶 勝史 社会医療法人真美会中野こども病院
 井原 かおり 社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会 富田林病院
 伴 洋子 公益財団法人 田附興風会 医学研究所北野病院
 川端 聡 一般財団法人住友病院
 松原 正樹 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター
 山本 佳世子 今里ハートクリニック
 近藤 理香 社会医療法人愛仁会千船病院
 角谷 勇実 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
 山下 篤子 医療法人育和会育和会記念病院
 森本 千恵
 川崎 美恵子

■2021(令和3)年度 (52名)

菅原 純 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
 山本 賢 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
 中島 百合子

清井 貴博
 米本 降浩 地方独立行政法人りんくう総合医療センター
 滝沢 恵洋子 大阪市立大学医学部附属病院
 赤塚 由起
 田所 裕子 社会医療法人きっこう会多根クリニック
 幸高 真美 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
 市島 真由美 近畿大学病院
 田川 次郎
 佐藤 直美 一般財団法人住友病院
 金沢 直美 一般財団法人住友病院
 中井 依砂子 一般財団法人住友病院
 中井 順子 医療法人錦秀会阪和第二泉北病院
 中川 菊一 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター
 足立 ひとみ 医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院
 三平 りさ 府中病院
 仲井 伸之
 佐藤 幸枝 関西医科大学香里病院
 松本 典久 市立吹田市民病院
 大江 浩美 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター
 山本 直祉 医療法人警和会大阪警察病院
 北出 和史 医療法人警和会大阪警察病院
 崎間 里実 医療法人成和会北大阪ほうせんか病院
 小井 エミ 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院
 筒井 孝一 独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター
 福田 由芙 市立豊中病院
 井上 義隆 独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
 竹山 佳織
 日高 佐知子
 森本 陽子
 橋木 康弘 医療法人警和会大阪警察病院
 浦上 晴芙
 北川 篤 社会医療法人きっこう会多根記念眼科病院
 森本 正樹 地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター
 宮崎 さや子 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター
 藤堂 奈穂 市立池田病院
 谷口 圭子 大阪府済生会茨木病院
 津田 喜裕 近畿大学病院
 豊田 利恵子 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター
 森下 律子
 牧 亜矢子 学校法人大阪医科薬科大学大阪医科薬科大学病院

有島 友美	関西電力病院
森 文了	医療法人徳洲会八尾徳洲会総合病院
奥井 実	医療法人篤友会千里山病院
亀井 隆一	医療法人寺西報恩会長占総合病院
毛利 夏生理	医療法人沖縄徳洲会吹田徳洲会病院
久保 由紀	医療法人協和会協立病院
岡本 寛之	社会医療法人愛仁会千船病院
田辺 真実	大阪鉄道病院
宮浦 稔子	社会医療法人純幸会関西メデイカル病院

大阪府臨床検査技師会 総会

平成 29 年度 定時総会

平成 29 年 5 月 25 日(木)19:00~20:00

大阪府臨床検査技師会事務所

議長 上村 ゆり子 (株式会社サンキメディカルラボラトリー)

是永 愛 (堺市立総合医療センター)

正会員数 3,630 名 出席者 40 名 委任状 2,552 名

平成 30 年度 定時総会

平成 30 年 6 月 21 日(木)19:00~20:00

大阪府臨床検査技師会事務所

議長 濱田 宏輝 上村 ゆり子 (株式会社サンキメディカルラボラトリー)

正会員数 3,661 名 出席者 51 名 委任状 2,433 名

2019 年度 定時総会

2019 年 6 月 20 日(木)19:00~20:00

大阪府臨床検査技師会事務所

議長 北川 篤 (社会医療法人きつこう会 多根記念眼科病院) 濱田 宏輝

正会員数 3,776 名 出席者 54 名 委任状 2,526 名

2020 年度 定時総会

2020 年 6 月 18 日(木)19:00~20:00

OMM 展示ホール 201 会議室

議長 蓮輪 亮介 (大阪公立大学医学部附属病院)

北川 篤 (社会医療法人きつこう会 多根記念眼科病院)

正会員数 3,804 名 出席者 31 名 委任状 2,585 名

2021 年度 定時総会

2021 年 6 月 17 日(木)19:00~20:00

OMM 展示ホール 204・205 会議室

議長 是永 愛 (堺市立総合医療センター)

喜舎場 智之 (社会医療法人 阪南医療福祉センター 阪南中央病院)

正会員数 3,845 名 出席者 36 名 委任状 2,634 名

2022 年度 定時総会

2022 年 6 月 16 日(木)19:00~20:00

OMM 展示ホール 204・205 会議室

議長 岡部 文雄 (一般財団法人 大阪府結核予防会 相談診療所)

富岡 篤史（地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター）
正会員数 4,021 名 出席者 36 名 委任状 2,730 名

大阪府臨床検査技師会 役員

■平成29年・30年(2017・2018年)度役員

会 長	竹 浦 久 司	(きつこう会多根総合病院)
副 会 長 (事務局長)	井戸田 篤	(大阪国際がんセンター)
副 会 長 (事業局長)	高 田 厚 照	(関西医科大学総合医療センター)
副 会 長 (財務局長)	杉 山 昌 晃	(市立岸和田市民病院)
常務理事 (地区事業部長)	田 畑 泰 弘	(育和会記念病院)
常務理事 (総務部長)	酒 井 正 容	(悠人会ベルライブ)
常務理事 (学術部長)	増 田 詩 織	(近畿大学医学部附属病院)
理 事 (渉外部長)	清 水 隆 之	(市立豊中病院)
理 事 (情報組織部長)	山 西 八 郎	(天理医療大学)
理 事 (総務部)	山 田 真規子	(サイトサポート・インSTITUTE株式会社)
理 事 (会計部)	久保田 芽 里	(大阪医科大学附属病院)
理 事 (情報組織部)	上 田 一 仁	(市立芦屋病院)
理 事 (情報組織部)	梶 勝 史	(真美会中野こども病院)
理 事 (地区事業部)	井 口 健	(大阪医科大学)
理 事 (渉外部)	岡 本 秀 雄	(一般財団法人住友病院)
理 事 (学術部)	安 保 浩 二	(大阪市立大学医学部附属病院)
理 事 (地区事業部)	谷 川 崇	(生長会府中病院)
理 事 (渉外部・学術部)	山 本 裕 之	(大阪赤十字病院)
監 事	柴 芳 浩	(柴 芳浩会計士補事務所)
監 事	荒 木 年 夫	(株式会社大阪血清微生物研究所)

■令和元年・2年(2019・2020年)度役員

会 長	高 田 厚 照	(関西医科大学総合医療センター)
副 会 長 (事業局長)	井戸田 篤	(大阪国際がんセンター)
副 会 長 (事務局長)	酒 井 正 容	(ベルライブ)
副 会 長 (財務局長)	杉 山 昌 晃	(市立芦屋病院)
常務理事 (組織部長)	田 畑 泰 弘	(育和会記念病院)
常務理事 (精度管理部長)	山 西 八 郎	(天理医療大学)
常務理事 (学術部長)	増 田 詩 織	(近畿大学奈良病院)
理 事 (渉外部長)	清 水 隆 之	(市立豊中病院)
理 事 (広報編集部長)	山 田 真規子	(和歌山県立医科大学附属病院)
理 事 (会計部長)	久保田 芽 里	(大阪医科大学附属病院)
理 事 (総務庶務部長)	梶 勝 史	(中野こども病院)
理 事 (組織部)	上 田 一 仁	(関西医療大学)
理 事 (組織部)	井 口 健	(大阪医科大学)

理事	(渉外部)	岡本秀雄	(住友病院)
理事	(学術部)	安保浩二	(大阪市立大学医学部附属病院)
理事	(組織部・会計部)	谷川 崇	(府中病院)
理事	(学術部・精度管理部)	山本裕之	(大阪赤十字病院)
理事	(組織部・渉外部)	上地裕美	(南大阪病院)
監事		柴 芳浩	(柴 芳浩会計士補事務所)
監事		荒木年夫	(株式会社大阪血清微生物研究所)
参与		竹浦久司	(多根総合病院)

■令和3年度(2021年)度役員

会長		高田厚照	(関西医科大学総合医療センター)
副会長	(事業局長)	増田詩織	(近畿大学奈良病院)
副会長	(事務局長)	井戸田 篤	(大阪国際がんセンター)
副会長	(財務局長)	杉山昌晃	(多根総合病院)
常務理事	(組織部長)	田畑泰弘	(育和会記念病院)
常務理事	(精度管理部長)	山西八郎	(天理医療大学)
常務理事	(学術部長)	安保浩二	(大阪市立大学医学部附属病院)
理事	(渉外部長)	岡本秀雄	(住友病院)
理事	(広報編集部長)	山田真規子	(和歌山県立医科大学附属病院)
理事	(会計部長)	久保田芽里	(大阪医科薬科大学病院)
理事	(総務庶務部長)	梶 勝史	(大阪旭こども病院)
理事	(組織部)	上田一仁	(関西医療大学)
理事	(組織部)	井口 健	(大阪医科薬科大学)
理事	(組織部・会計部)	谷川 崇	(府中病院)
理事	(学術部・精度管理部)	山本裕之	(京都府立医科大学附属病院)
理事	(総務庶務部・渉外部)	上地裕美	(南大阪病院)
理事	(渉外部)	赤木征宏	(大阪警察病院)
理事	(広報編集部)	中尾聖子	(関西医科大学総合医療センター)
監事		柴 芳浩	(柴 芳浩会計士補事務所)
監事		荒木年夫	(株式会社大阪血清微生物研究所)
参与		竹浦久司	(多根総合病院)

■令和4年・5年(2022・2023年)度役員

会長		増田詩織	(近畿大学奈良病院)
副会長	(事業局長)	梶 勝史	(大阪旭こども病院)
副会長	(事務局長)	上田一仁	(関西医療大学)
副会長	(財務局長)	山西八郎	(天理医療大学)
常務理事	(組織部長)	田畑泰弘	(育和会記念病院)
常務理事	(学術部長)	安保浩二	(大阪市立大学医学部附属病院)
常務理事	(広報編集部長)	山田真規子	(和歌山県立医科大学附属病院)

常務理事	(会計部長)	久保田 芽 里	(大阪医科薬科大学病院)
理 事	(精度管理部長・学術部)	竹 村 真 俊	(JCHO 大阪病院)
理 事	(渉外部長)	岡 本 秀 雄	(住友病院)
理 事	(組織部長)	谷 川 崇	(府中病院)
理 事	(総務庶務部長)	上 地 裕 美	(南大阪病院)
理 事	(総務庶務部・渉外部)	赤 木 征 宏	(大阪警察病院)
理 事	(総務庶務部・学術部)	佐 藤 信 浩	(大阪赤十字病院)
理 事	(広報編集部・組織部)	是 永 愛	(堺市立総合医療センター)
理 事	(広報編集部・渉外部)	堀 田 真 希	(大阪大学医学部附属病院)
理 事	(組織部・会計部)	藪 圭 介	(枚方公済病院)
理 事	(渉外部・会計部)	喜舎場 智 之	(阪南中央病院)
理 事	(学術部・会計部)	豊 田 利恵子	(大阪急性期・総合医療センター)
監 事		柴 芳 浩	(柴 芳浩会計士補事務所)
監 事		井戸田 篤	(大阪国際がんセンター)
参 与		竹 浦 久 司	(多根総合病院)
参 与		高 田 厚 昭	(関西医科大学くずは病院)

編集後記

広報編集部 山田 真規子

年輪とは…

「年輪」は大阪府臨床検査技師会の歴史をつづった冊子として、創立・法人設立の節目の年度に発行されてきた「記念誌」です。大先輩方が多くの時間と労力を費やして発行されてきた歴史があります。

今回当初の予定より2年遅れではありますが、大阪府臨床検査技師会創立70周年・法人設立35周年の記念誌「年輪Ⅶ」を発行しました。

年輪ⅥとⅦについて…

「年輪Ⅵ」からは電子版での発行となっています。時代の流れとともに元データも紙媒体からデジタル媒体へと変遷し、記録が容易に残せるようになった背景があります。年度毎の記録としては「大臨技会報」を発行していますが、こちらも2012年度から電子版で発行しており、当会のホームページに掲載し、いつでも閲覧できる状態となっています。そのため、「年輪」としては事業報告として重複する内容は割愛し、「特集」をメインとした報告記事を掲載しています。

「年輪Ⅶ」は2年遅れでの発行となったため、原稿が2022年度時点のものであり、祝辞を頂戴した各団体の会長は交代されている方もおられます。また、大阪府知事、大阪市長への寄稿依頼のタイミングが、2023年4月の第20回統一地方選の選挙前となり、大阪市長からはお断りされ、大阪府知事は氏名と写真の掲載は不可とのことから、今回のような(稀有な)体裁となりましたことをお詫び申しあげる次第です。

大阪府臨床検査技師会創立70周年・法人設立35周年記念誌 年輪Ⅶ (2025年2月1日)

編集委員	梶 勝史	山田真規子	上地 裕美
	赤木 征宏	堀田 真希	是永 愛
	藪 圭介	豊田利恵子	安江 智美
	平川弥寿与	岡部 文雄	上遠野 明
	上村ゆり子	上松奈津樹	

表紙デザイン 岡部 文雄

発行所 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
 〒543-0018 大阪市天王寺区空清町 8-33
 (大阪府医師協同組合東館 4F)
 TEL 06-6763-5652 FAX 06-6763-5653
<https://www.osaka-amt.or.jp/>

発行者 増田 詩織
